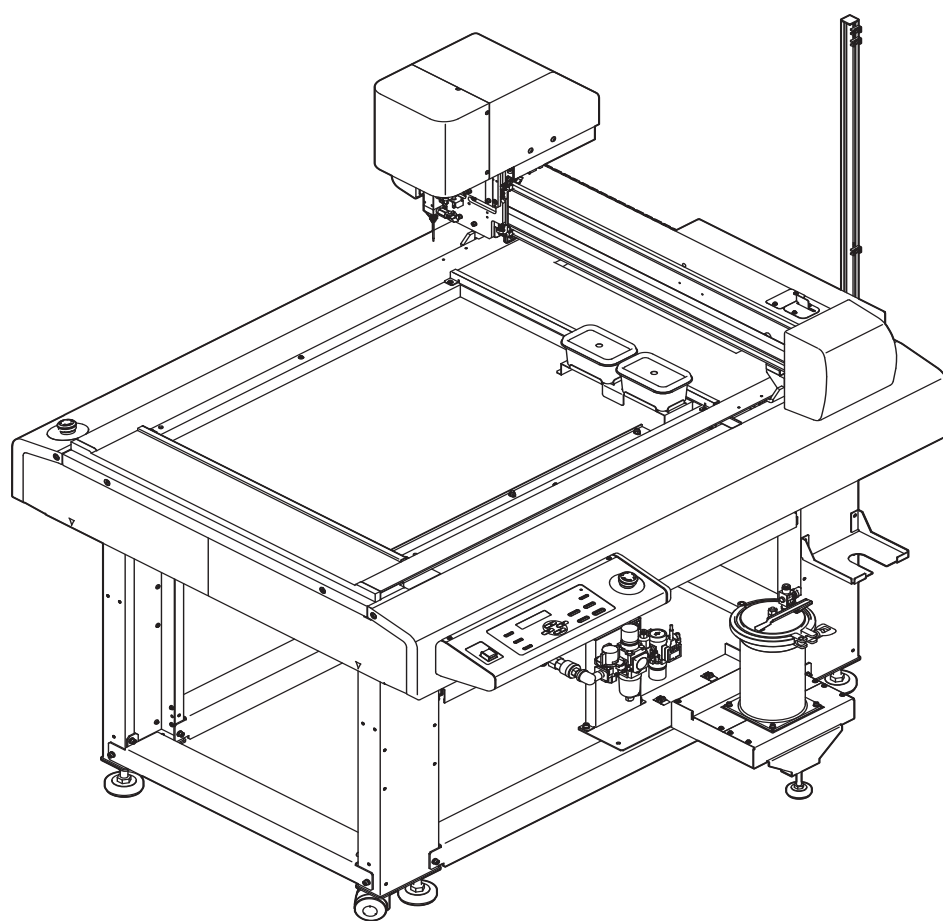


塗布装置

DCF-605 PU

取扱説明書



取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

もくじ

ご注意	v
ご注意	v
電波障害自主規制	v
テレビ/ラジオの受信障害について	v
塗布剤について	v
はじめに	vi
取扱説明書について	vi
付属品について	vi
安全にお使いいただくために	vii
マーク表示について	vii
警告ラベル	x

第1章

ご使用の前に

使用上の制限について	1-2
使用者の制限	1-2
エリア制限	1-2
設置について	1-3
本機の移動	1-4
各部の名称とはたらき	1-5
本体	1-5
ヘッド	1-6
操作パネル	1-7
ケーブルの接続	1-8
インターフェイスクーブルの接続	1-8
電源ケーブルの接続	1-8
停止スイッチについて	1-9
停止の方法	1-9
停止からの回復	1-9
ローカル/リモート状態について	1-10
ローカル状態とディスプレイ表示	1-10
リモート状態とディスプレイ表示	1-10

第2章

基本動作

基本操作の流れ	2-2
電源のオン	2-3
ツールの取り付け	2-4
ノズルの取り付け/交換	2-4
浸け置きバットへの洗浄液の補充	2-6
捨て打ちバットの点検/廃棄	2-8
塗布剤の充填をする	2-9
塗布剤の充填をする	2-9
テスト塗布をする	2-11
ワークを固定する	2-12
ワークの基準穴で固定する	2-12
ワークの外形で固定する	2-12

塗布する	2-13
有効塗布エリアについて	2-13
塗布する	2-13
処理を中断する	2-14
処理を再開する	2-14
処理を中止する（データクリア）	2-15
電源のオフ	2-16

第3章 便利な使い方

設定機能一覧表	3-2
ジョグモードによる機能	3-4
表示単位の設定	3-5
LANGUAGE の設定	3-7
その他の便利な機能	3-8
キープザーの設定をする	3-8
ネットワークの設定をする	3-9
設定した内容を初期状態に戻す	3-11
装置情報を確認する	3-12
その他の情報を表示する	3-13

第4章 日常のお手入れ

日常のお手入れ	4-2
外装のお手入れ	4-3
塗布パネル面 / タンク周辺 / 浸け置き・捨て打ちバット	4-3
液供給ホース	4-4
塗布剤の経路の清掃	4-4
塗布ガン部の清掃	4-5
ノズルの洗浄	4-5
サプライ品について	4-8

第5章 困ったときは

こんなときには	5-2
故障？と思う前に	5-3
電源をオンにしても動作しない	5-3
アプリからデータを送信しても動作しない	5-3
データを送信するとエラーが発生する	5-3
ツールがワークの上を引きずる	5-4
塗布した線が点線になる / かすれる	5-4
メッセージを表示するトラブル	5-5
対処できるエラー	5-5

仕様	5-6
LICENSE Library	5-7



ご注意

- ・株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
- ・本書の内容の一部および全部を無断転載することを禁じます。
- ・この塗布機は防爆構造ではありません。
そのため、ご使用になる塗布液、洗浄液のSDSを参照し、適切な換気設備を設置してください。換気設備がない状態での操作について、安全は保障できません。
また、引火性液体を取り扱う際は、必ず除電してから操作してください。

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。本機の接続に於いて、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCI ルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ/ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本機がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることでお試してください。

- ・テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- ・この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- ・この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

塗布剤について

自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。一部成分において、水生生物に対する毒性があります。取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。

SDS に従い、塗布剤の充填、廃棄、等の作業をする場合は、下記の安全対策を行ってください。

- ・適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用してください。
- ・取り扱い後はよく手を洗ってください。
- ・静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- ・換気の良い場所でのみ使用してください。

保管について

- ・涼しい所/換気の良い場所で保管してください。
- ・密閉した状態で保管してください。
- ・施錠して保管してください。
- ・子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

廃棄処分される場合は、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例にしたがって処理してください。

この度は、塗布装置 DCF-605PU をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

本書は、塗布装置 DCF-605PU について説明いたします。

本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。

取扱説明書について

- 本書は、「塗布装置 DCF-605PU」（以後本機と称します）の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

付属品について

別紙の「付属品リスト」を参照の上、付属品の確認をしてください。
不足している物、破損している物がありましたら、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。









© 株式会社ミマキエンジニアリング

All Rights Reserved. Copyright

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本機を安全に正しくお使いください。

記号	名称	説明
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷のおそれがある内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告図記号	注意しなければならない事項を示しています。具体的な注意事項は図の中に描かれます。
	一般強制指示図記号	実行しなければならない事項を示しています。具体的な指示内容は図の中に描かれます。
	一般禁止図記号	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は図の中に描かれます。
	ヒント	参考情報を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

使用上の警告と注意

 警告

- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 湿気の多い場所での使用は避けてください。また、本機に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本機の分解・改造は、絶対に行しないでください。感電や故障の原因になります。
- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。
- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 表示された電源周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が本機内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
- 本機を移動する場合は、最寄のサービス店にご相談ください。
- 安全にご使いいただくために使用前に除電シートに触れてください。
- 本機は防爆構造ではありません。適切な換気設備を設置してください。
- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

 警告

- 本機に子供を近づけないでください。

使用上のご注意

 注意

電源供給について



- ブレーカーは常時 ON にしておいてください。
- 側面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。

電源ケーブルについて



- 極性付きのコンセントに接続してください。
- 必ず本機の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。
- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。
- 電源を接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認し、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断することがあります。

メンテナンス上の注意



- タンク周辺やヘッドを清掃する際は、必ず適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用してください。
- 塗布液、メンテナンス用洗浄液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用してください。
- 手袋は消耗品です。付属の手袋が無くなりましたら市販品をご使用ください。








本体の取り扱い上の注意



- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。
- 使用の際には十分な換気を行ってください。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
- ワークを交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。
- 本機内部の掃除をサービス実施店に相談してください。本機内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、本機内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。
- 本体の上に乗らないでください。故障の原因となります。
- ダブついた服装、装飾品などを着用したまま作業はしないでください。また、長い髪の毛は束ねてください。
- 本機の電源を再度オンにする場合は、電源をオフにしてから 30 秒経ってから行ってください。誤動作の原因になります。
- 塗布中に、顔や手などを塗布パネルのそばに近づけないでください。

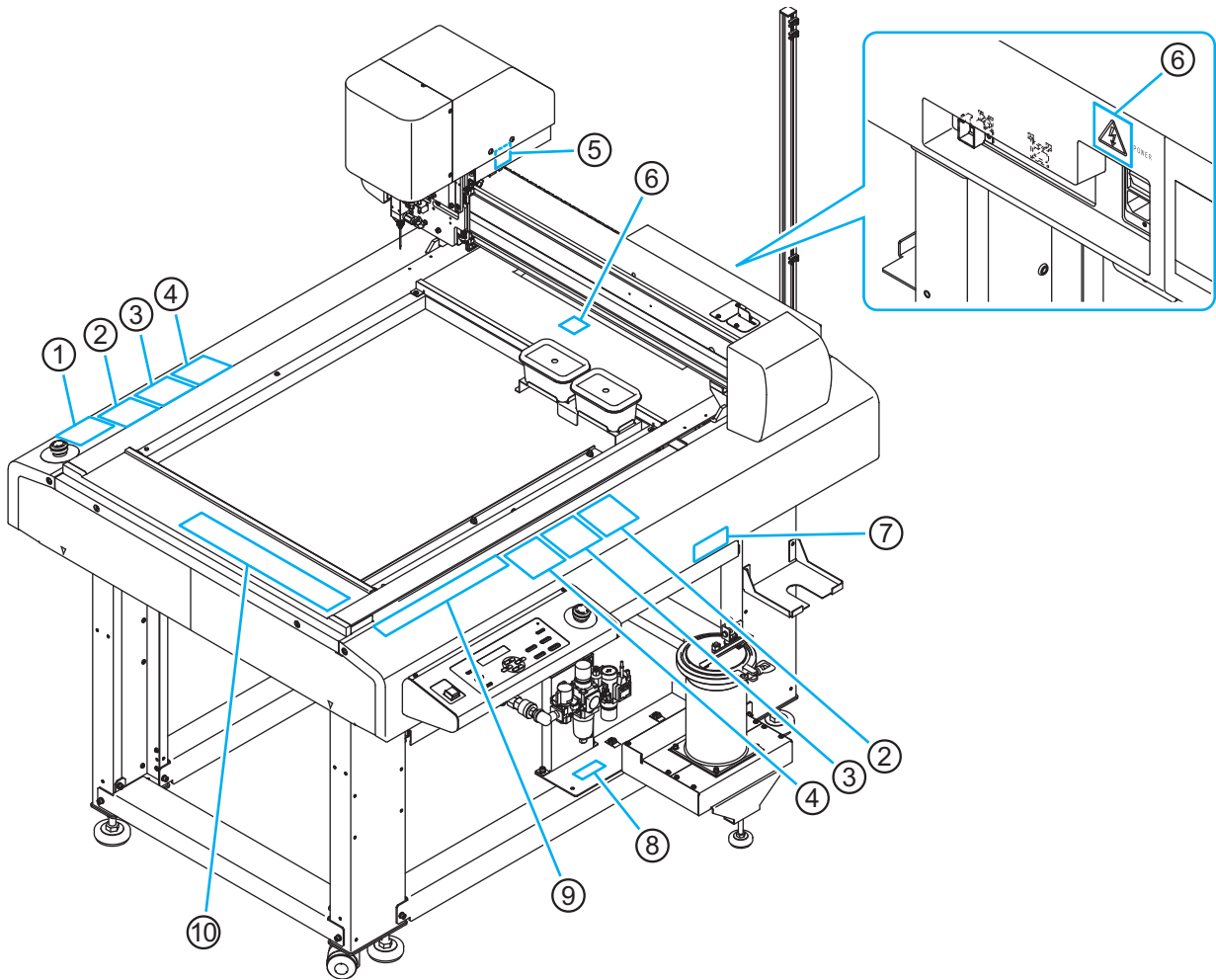
設置上のご注意







 **注意**

直射日光が当たる場所	
	・直射日光などで、塗布パネル面の温度が 60 °C を越えるような場所には設置しないでください。塗布パネルが変形したり、故障の原因になります。
温度や湿度の変化が激しい場所	
	・次の環境下でお使いください。 使用環境：15 ~ 30 °C 35 ~ 65%(Rh)
エアコンなどの風が直接当たる場所	
	・塗布品質に影響を及ぼす場合があります。
振動が発生する場所	
	・振動が発生する場所では、正常な結果を得ることができません。
塵、ホコリやタバコの煙が充満している場所	
	・本機は精密機械です。塵やホコリが充満する場所では使用しないでください。
水平でない場所	
	・本機が傾いていると、正常な結果を得ることができません。また、故障の原因になります。


警告ラベル

本機には警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお
買い求めください。



① 注文番号 : M902667	② 注文番号 : M916975	③ 注文番号 : M916978
		
④ 注文番号 : TSG-K100D	⑤ 注文番号 : M903239	⑥ 注文番号 : M907935
		

⑦ 注文番号 : M903330	⑧ 注文番号 : M917015
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>Air Pressure Max 0.4MPa </p> </div>

⑨ 注文番号 : M906115											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">⚠ 警告</th> <th style="text-align: center;">⚠ 警告</th> <th style="text-align: center;">⚠ WARNING</th> <th style="text-align: center;">⚠ WAARSCHUWING</th> <th style="text-align: center;">⚠ AVERTISSEMENT</th> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">手指和身体请勿靠近运转部位、以免造成危险</td> <td style="font-size: small;">危険な可動部 指や体を近づけないように</td> <td style="font-size: small;">HAZARDOUS MOVING PARTS Keep fingers and other body parts away.</td> <td style="font-size: small;">GEFÄHRLICHE BEWEGLICHE TEILE Finger und andere Körperteile fernhalten.</td> <td style="font-size: small;">PIECES MOBILES DANGEREUSES Doigts et autres parties du corps sont hors de portée.</td> </tr> </table>	⚠ 警告	⚠ 警告	⚠ WARNING	⚠ WAARSCHUWING	⚠ AVERTISSEMENT	手指和身体请勿靠近运转部位、以免造成危险	危険な可動部 指や体を近づけないように	HAZARDOUS MOVING PARTS Keep fingers and other body parts away.	GEFÄHRLICHE BEWEGLICHE TEILE Finger und andere Körperteile fernhalten.	PIECES MOBILES DANGEREUSES Doigts et autres parties du corps sont hors de portée.
⚠ 警告	⚠ 警告	⚠ WARNING	⚠ WAARSCHUWING	⚠ AVERTISSEMENT							
手指和身体请勿靠近运转部位、以免造成危险	危険な可動部 指や体を近づけないように	HAZARDOUS MOVING PARTS Keep fingers and other body parts away.	GEFÄHRLICHE BEWEGLICHE TEILE Finger und andere Körperteile fernhalten.	PIECES MOBILES DANGEREUSES Doigts et autres parties du corps sont hors de portée.							

⑩ 注文番号 : M902663									
 <p style="font-size: small;">ヘッド移動中やリモートモードのときは、手や顔を近づけないこと。 Yバーに当たり、ケガする原因になります。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">⚠ 警告</th> <th style="text-align: center;">⚠ WARNING</th> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">PIECES MOBILES DANGEREUSES N'APPROCHEZ PAS VOS DOIGTS OU D'AUTRES PARTIES DU CORPS</td> <td style="font-size: small;">HAZARDOUS MOVING PARTS KEEP FINGERS AND OTHER BODY PARTS AWAY</td> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">⚠ AVERTISSEMENT</th> <th style="text-align: center;">⚠ WARNING</th> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">PIECES MOBILES DANGEREUSES N'APPROCHEZ PAS VOS DOIGTS OU D'AUTRES PARTIES DU CORPS</td> <td style="font-size: small;">GEFÄHRLICH SICH BEWEGENDE TEILE HALTEN SIE FINGER UND ANDERE KÖRPERTEILE FERN</td> </tr> </table>	⚠ 警告	⚠ WARNING	PIECES MOBILES DANGEREUSES N'APPROCHEZ PAS VOS DOIGTS OU D'AUTRES PARTIES DU CORPS	HAZARDOUS MOVING PARTS KEEP FINGERS AND OTHER BODY PARTS AWAY	⚠ AVERTISSEMENT	⚠ WARNING	PIECES MOBILES DANGEREUSES N'APPROCHEZ PAS VOS DOIGTS OU D'AUTRES PARTIES DU CORPS	GEFÄHRLICH SICH BEWEGENDE TEILE HALTEN SIE FINGER UND ANDERE KÖRPERTEILE FERN
⚠ 警告	⚠ WARNING								
PIECES MOBILES DANGEREUSES N'APPROCHEZ PAS VOS DOIGTS OU D'AUTRES PARTIES DU CORPS	HAZARDOUS MOVING PARTS KEEP FINGERS AND OTHER BODY PARTS AWAY								
⚠ AVERTISSEMENT	⚠ WARNING								
PIECES MOBILES DANGEREUSES N'APPROCHEZ PAS VOS DOIGTS OU D'AUTRES PARTIES DU CORPS	GEFÄHRLICH SICH BEWEGENDE TEILE HALTEN SIE FINGER UND ANDERE KÖRPERTEILE FERN								

第1章 ご使用前に



この章では ...

本機の各部の名称や設置方法など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明します。

使用上の制限について.....	1-2
使用者の制限	1-2
エリア制限	1-2
設置について	1-3
本機の移動	1-4
各部の名称とはたらき.....	1-5
本体	1-5
ヘッド	1-6
操作パネル	1-7
ケーブルの接続	1-8
インターフェイスクーブルの接続	1-8
電源ケーブルの接続	1-8
停止スイッチについて.....	1-9
停止の方法	1-9
停止からの回復	1-9
ローカル／リモート状態について.....	1-11
ローカル状態とディスプレイ表示	1-11
リモート状態とディスプレイ表示	1-11

使用上の制限について

使用者の制限

本機を使用するオペレーターは、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方に限られます。

エリア制限

- 適切な訓練を受けた使用者以外の者が装置に近づくことを禁止します。専用の個室、もしくは安全柵にて囲みを設けるなど、物理的な方法で、本機を隔離エリアに設置してください。
- 安全柵にて隔離エリアを設ける場合は、EN ISO13857 規格に準じたものを使用してください。
- 専用の個室を設ける場合は、出入り口のドアに鍵やインターロックを設置してください。
- リスクアセスメントを実施してください。

設置について

次の設置スペースを確保できる場所に、本機を設置してください。



- 設置スペース内には、物を置かないでください。つまずく恐れがあります。

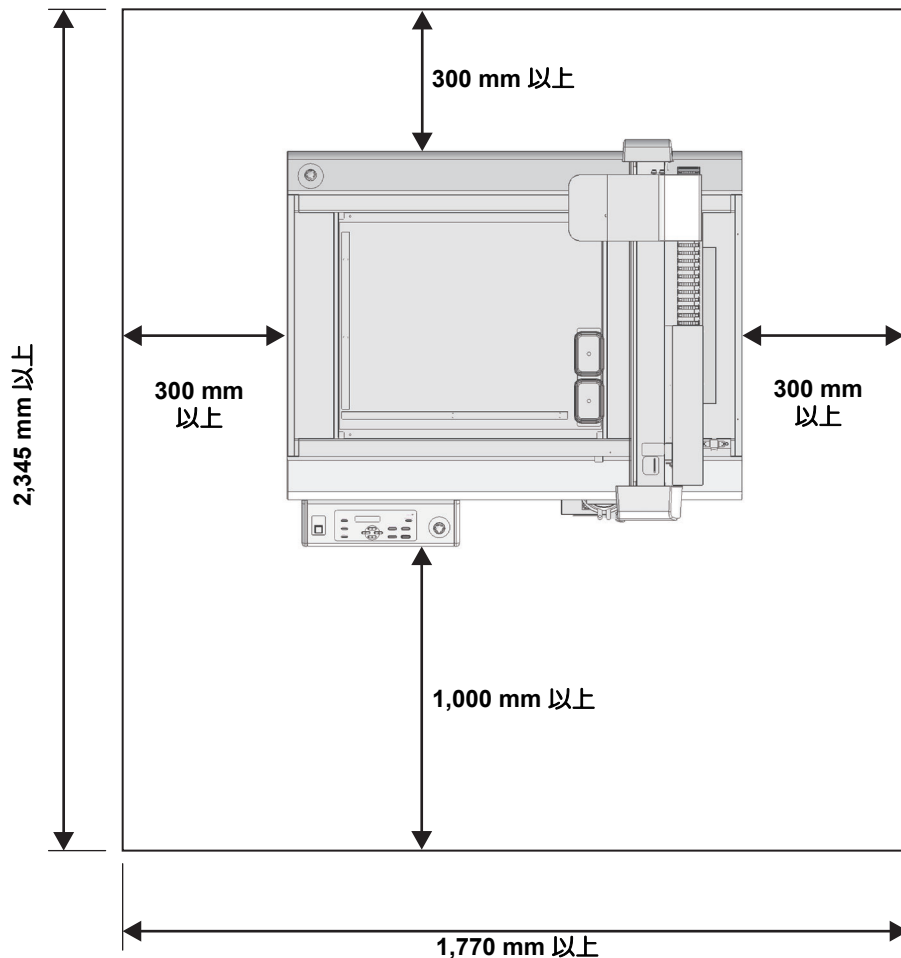


- 火気のある場所に本機を設置しないでください。塗布剤に引火するおそれがあります。
- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障、感電、または火災のおそれがあります。
- 本機に子供を近づけないでください。



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工時には、必ず以下の内容をお守りください。
 - (1) 排気口の設置については各国の地域のEHS(Environmental, Health and Safety)ガイドラインにしたがってください。
 - (2) 排気口に閉鎖弁などを設置する場合、本機使用時は必ず閉鎖弁を開けてください。

モデル	幅	奥行き	高さ	全体重量
DCF-605PU	1,170 mm	1,045 mm	1,480 mm	130kg 以下



1

ご使用前に

本機の移動

本機をやむを得ず、段差のない同一フロア内で移動する場合は、下記のように行ってください。



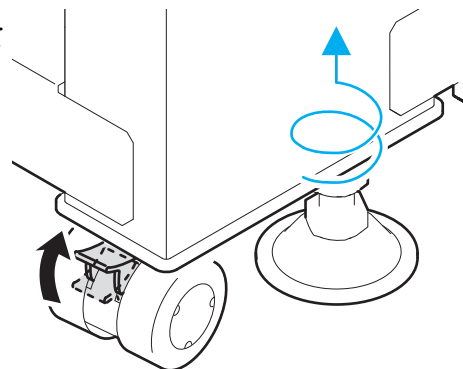
- 本機の移設の際は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。お客様が本機の移設を行うと、故障や破損の原因になります。本機の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。



- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずキャスターをロックしてください。

1

アジャスターフットを上げて、キャスターを接地させる



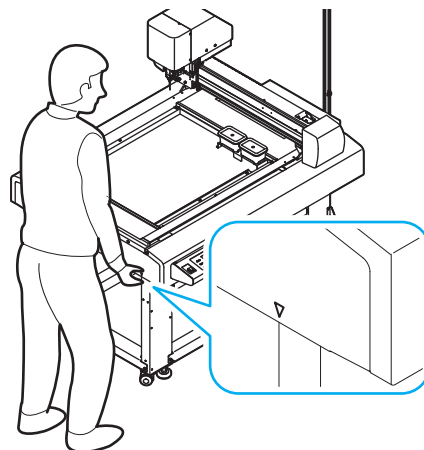
2

キャスターのロックを解除する

3

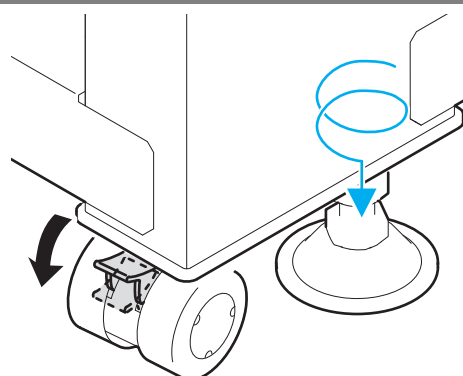
図のようにして、移動する

- 本体側面カバーの▽印のか所を押して移動します。
- ▽印以外の場所を押して移動すると、カバーが割れる可能性があります。



4

キャスターをロックする

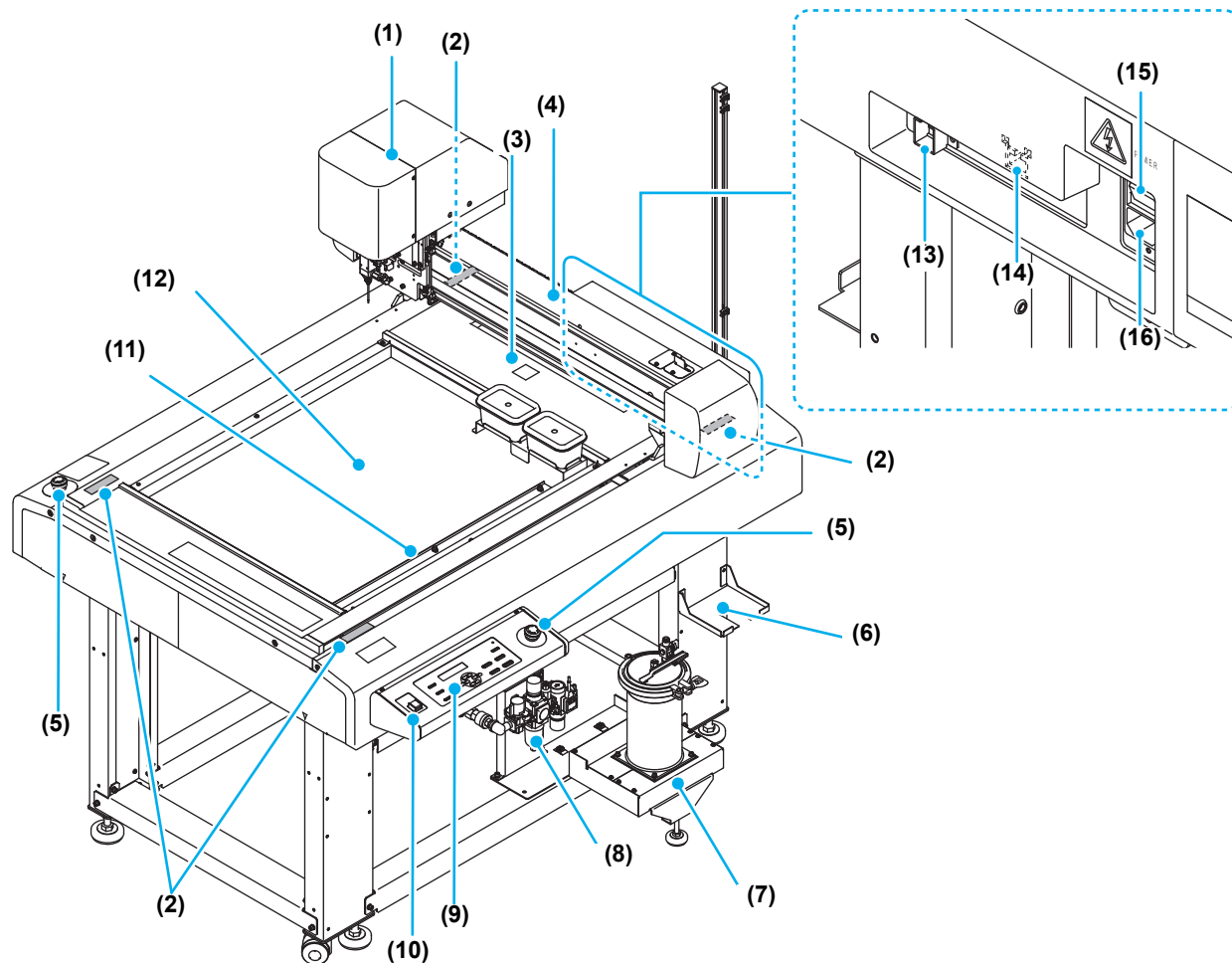


5

アジャスターフットを下げて、本体の水平出しを行う

各部の名称とはたらき

本体



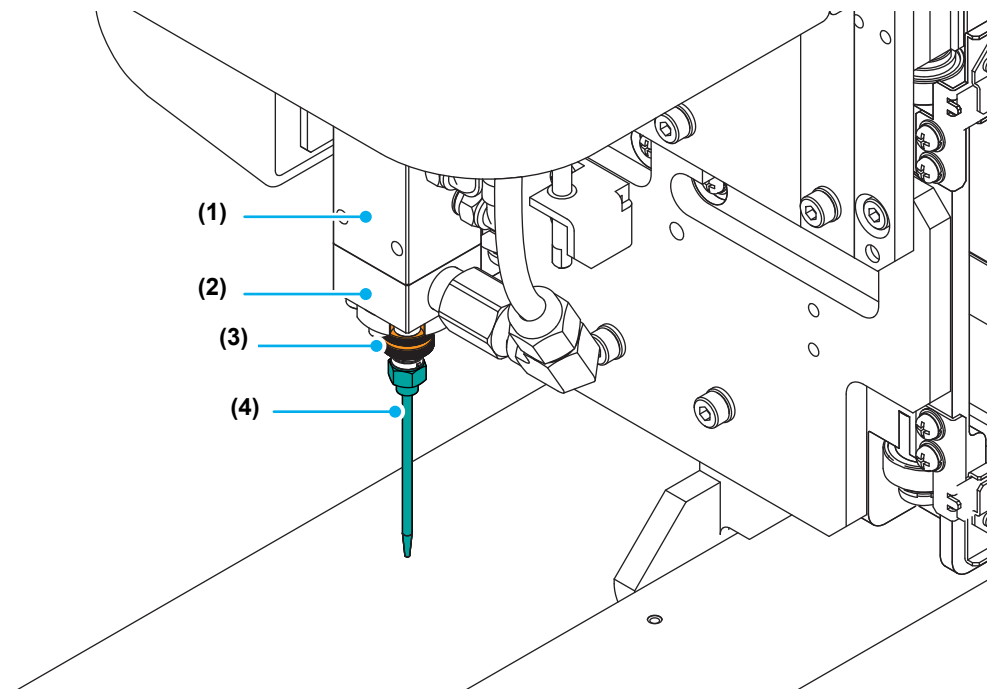
1

1 使用の前に

	名称	はたらき
(1)	ヘッド	塗布剤を塗布します。
(2)	静電気防止テープ	静電気により埃が付着するのを防ぎます。
(3)	テーブル	ワークや成果物を一時的に置いておくことができます。
(4)	Yバー	ヘッドを Y 方向に移動します。
(5)	停止スイッチ	動作を停止します。
(6)	蓋受け台	タンクのフタを一時的に置いておくことができます。
(7)	タンク Assy.	塗布剤を充填します。
(8)	エアーコンビネーション	圧力の調整をします。
(9)	操作パネル	本機に必要な設定を行います。(☞ P.1-7)
(10)	電源スイッチ	本機の電源をオン/オフします。
(11)	セットガイドプレート	ワークをセットするときの目安とします。
(12)	塗布パネル	ワークを取り付けます。(☞ P.2-12)
(13)	USB インターフェイス	USB2.0 インターフェイスコネクタです。(☞ P.1-8)
(14)	LAN コネクタ	LAN インターフェイスコネクタです。(☞ P.1-8)
(15)	主電源スイッチ	本機の主電源をオン/オフします。通常は、オンの状態にしてください。保守作業時に、オフにします。
(16)	電源インレット	電源ケーブルを接続します。

ヘッド

正面



	名 称	はたらき
(1)	塗布ガン部	ノズルを取り付けます。(☞ P.2-4)
(2)	アダプター部	ノズルを取り付けます。(☞ P.2-4)
(3)	スリーブ	ノズルを固定します。
(4)	ノズル	塗布剤を吐出します。

操作パネル

VALVE キー

押し続けている間のみ、手動でノズルから、塗布剤を吐出させます。

Z-UP キー

ヘッドを上昇させます。

Z-DOWN キー

ヘッドを下降させます。

POWER ランプ

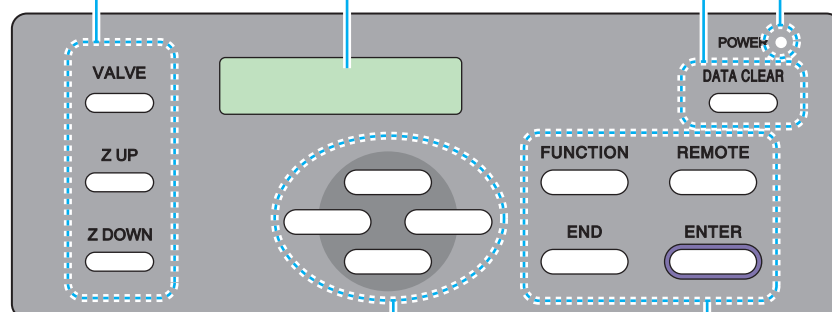
電源をオンにすると緑色に点灯します。

DATA CLEAR キー

本機が受信したデータを消去します。

ディスプレイ

本機の状態や設定メニューなどが表示されます。

**ジョグキー**

ローカルメニューを表示している時は、矢印方向にヘッドを移動します。

FUNCTION キー

各種機能を使うときに押します。

REMOTE キー

本機をリモート状態か、ローカル状態に切り換えます。

END キー

設定が終わるとき、またはキャンセルをするときに押します。

ENTER キー

設定を確定するときに押します。

ケーブルの接続

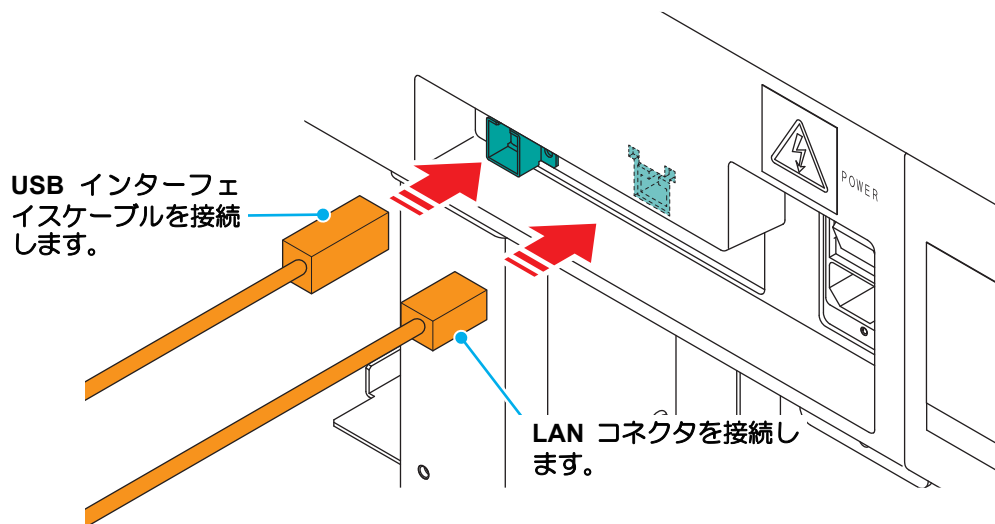


- LAN コネクタおよび USB インターフェイスケーブルを接続する際は、電源をオフ (P.2-16) にしてください。感電および本機が破損する恐れがあります。

インターフェイスケーブルの接続

本機は標準で LAN のインターフェイスおよび、USB のインターフェイスを搭載しています。

- 接続する前に、本機とコンピュータの電源をオフにしてください。



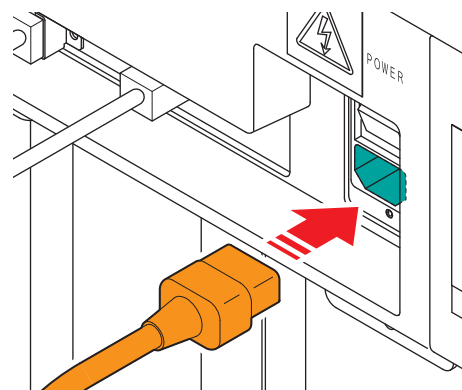
電源ケーブルの接続

インターフェイスケーブルを接続後、電源ケーブルを接続します。電源ケーブルは、下記の電源仕様のコンセントに接続してください。

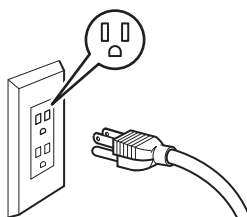
- 電圧：単相 AC100 - 120V / 200 - 240V ± 10%
- 周波数：50/60Hz



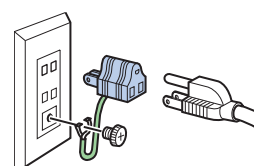
- 日本国内で使用する場合、単相 100V - 120V で使用してください。単相 AC200V へ接続して使用する場合、サービスエンジニアにご相談ください。



- 必ずアース接続をしてください
- アースを接続しないでご使用になると、本機の破損や感電の原因となることがあり、大変危険です。

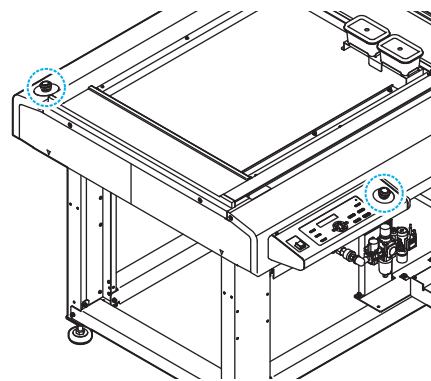


- 2極のコンセントを使用する場合は、電源ケーブルのプラグに付属の接地アダプタを接続します
- 接地アダプタの緑色の線（アース線）をアース処理してください。アース処理できない場合は、電気工事店にご相談ください。



停止スイッチについて

本機を緊急で停止させたい場合に押します。
停止スイッチは、本機前面と背面にそれぞれ2カ所あります。

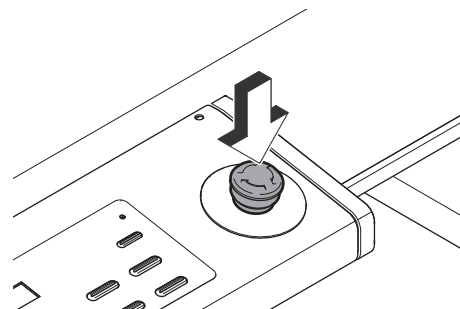


停止の方法

1 停止スイッチを押す

- 本機の動作が停止し、スイッチ解除の表示になります。

スイッチヲ カイン`ヨ シテクタ`サイ

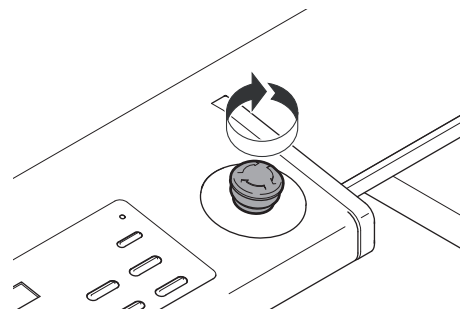


停止からの回復

1 停止スイッチを時計方向に回して、ロックを解除する

- 以下の表示になります。

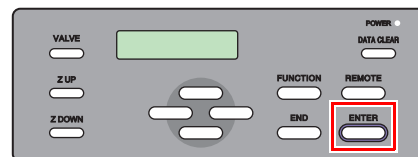
[ENT]ヲ オンテクタ`サイ



2

ENTER キーを押す

- 自動で待機位置 (浸け置きバット) へ戻ります。



1

1 使用の前に

ローカル／リモート状態について

ローカル状態とリモート状態は、操作パネルの **◻ REMOTE ◻** を押すごとに切り換わります。

ローカル状態とディスプレイ表示

ローカル状態は、ヘッドの移動、本機の各種機能の設定、およびコンピュータからのデータを受信することができます。ローカル状態では、操作パネル上の全てのキーが有効です。

リモート状態とディスプレイ表示

リモート状態は、受信したデータを塗布できる状態のことです。
操作パネル上の電源スイッチ、**◻ REMOTE ◻** が有効です。
リモート状態では、以下のディスプレイ表示になります。

* リモート *

第2章 基本動作



この章では ...

ツールの取り付け方から塗布までの、手順や設定方法について説明します。

基本操作の流れ	2-2
電源のオン.....	2-3
ツールの取り付け.....	2-5
ノズルの取り付け / 交換	2-5
浸け置きバットへの洗浄液の補充	2-7
捨て打ちバットの点検 / 廃棄	2-9
塗布剤の充填をする	2-11
塗布剤の充填をする	2-11
テスト塗布をする.....	2-13
ワークを固定する.....	2-15
ワークの基準穴で固定する	2-15
ワークの外形で固定する	2-15
塗布する	2-16
有効塗布エリアについて	2-16
塗布する	2-16
処理を中断する	2-17
処理を再開する	2-17
処理を中止する（データクリア）	2-18
電源のオフ.....	2-19

基本操作の流れ

基本的な操作の流れを示します。
詳細は、その項目の参照ページをお読みください。

1 電源を入れる

「電源のオン」(P.2-3) を参照してください。

2 ツールを取り付ける

「ツールの取り付け」(P.2-4) を参照してください。

3 塗布液を充填する

「塗布剤の充填をする」(P.2-9) を参照してください。

4 テスト塗布をする

「テスト塗布をする」(P.2-11) を参照してください。

5 ワークを固定する

「ワークを固定する」(P.2-12) を参照してください。

6 塗布する

「塗布する」(P.2-13) を参照してください。

7 電源を切る

「電源のオフ」(P.2-16) を参照してください。

電源のオン

本機には、2つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ: 本機の右側面にあります。

電源スイッチ : 通常、電源のオン/オフをするときはこのスイッチを使用します。



- 電源をオンするときは、ワーク以外の物を塗布パネル上に乗せないでください。電源をオンするとヘッドが右下の待機位置へ移動します。ヘッドに物が当たり故障の原因になります。
- 本機の電源を再度オンする場合は、電源をオフにして 30 秒以上経ってから行ってください。誤動作の原因になります。

1

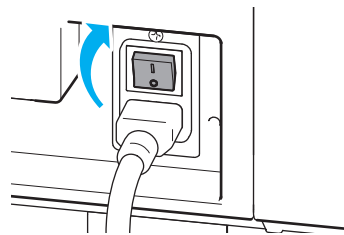
塗布パネル上に物が置いていないことを確認する

- 物が乗っている場合は、塗布パネルから降ろしてください。

2

主電源スイッチを入れる

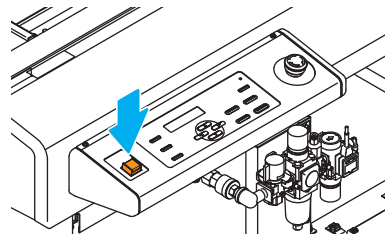
- 本機右側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。



3

電源スイッチを入れる

- 操作パネルにある電源スイッチを押します。
- POWER ランプが点灯します（緑色）。



4

接続しているコンピュータの電源をオンにする

2

基本動作

ツールの取り付け

ノズルの取り付け / 交換

ノズルには2種類あります。塗布方法に合わせて、ノズルを使い分けてください。

ノズルの種類	塗布方法
ニードルコートノズル SUS L42 D0.6	下方向へ塗布剤が吐出します。 狭い範囲を塗布するのに、適しています。
フィルムコートノズル SUS L41.5 D1.0 (0.1/0.19)	左右方向へスプレー式に塗布剤が吐出します。 広い範囲を塗布するのに適しています。



- ・ノズルの交換の際は、必ず適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用して作業を行ってください。
- ・作業の際は、塗布パネル上に物が置いていないことを確認してください。
- ・安全にご使用いただくために使用前に除電シートに触れてください。



- ・使用していないノズルは、固着しないように、常に浸け置きバットの中に入れておいてください。ノズルが固着すると、吐出不良の原因となります。
- ・長時間使用しないときには、洗浄をしてください。

1

電源を入れる (☞ P.2-3)

- (1) 主電源スイッチを入れる
- (2) 電源スイッチを入れる

2

ヘッドを移動させる

- (1) **REMOTE** キーを押して、ローカル状態にする
- (2) **▲** **▼** **◀** **▶** **Z-UP** **Z-DOWN** いずれかのジョグキーを押して、ジョグモードに入る
・ジョグモードに入ると、自動でヘッドが上昇します。
- (3) ジョグキーでヘッドを移動させる

3

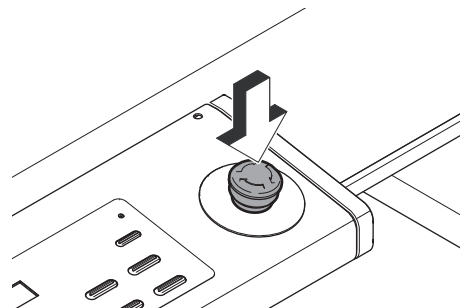
停止スイッチを押す

- ・本機の動作が停止し、スイッチ解除の表示になります。

スイッチヲ カイシ`ヨ シテクダ`サイ



- ・停止スイッチを押すと、ヘッドが下降します。ワーク等に当たらない位置で、停止スイッチを押してください。

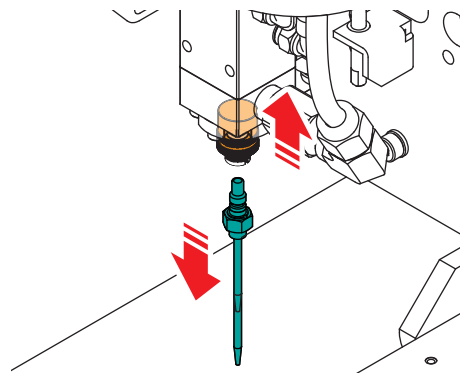


4

アダプター部のスリーブを持ち上げ、ノズルを取り外す



- ・取り外したノズルは浸け置きバットの中に入れておいてください。
- ・ヘッドが自由に動きます。アダプター部を手で固定し、ノズルを取り外してください。

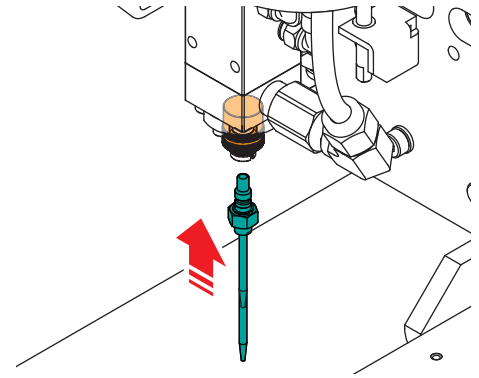


5

ノズルを取り付ける

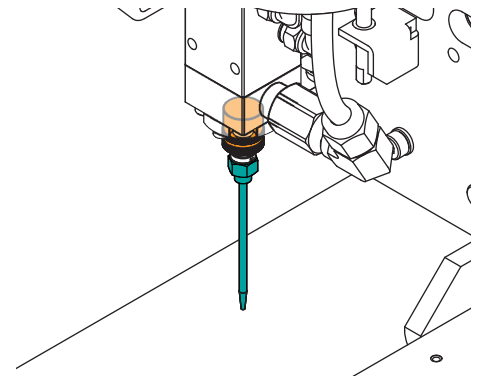


- ヘッドが自由に動きます。アダプター部を手で固定し、ノズルを取り付けてください。
- フィルムコートノズルの場合、ピンがソケットの切り欠き部分に合う様に取り付けます。



6

スリーブを下げ、ノズルを固定する

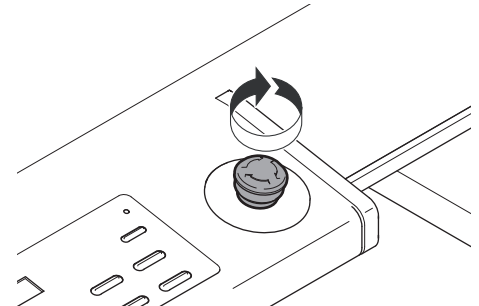


7

停止スイッチを時計方向に回して、ロックを解除する

- 以下の表示になります。

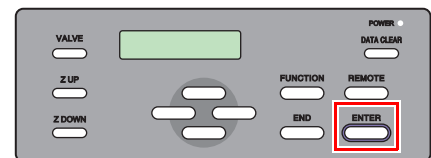
[ENT]ヲ オシテクタ`サイ



8

ヘッドを待機位置に戻す

- (1) **ENTER** キーを押す
 - 自動で待機位置 (浸け置きバット) へ戻ります。



2

基本動作

浸け置きバットへの洗浄液の補充

浸け置きバットは、ヘッドの待機位置となり、洗浄液によりノズルの先端の固着を防ぎます。定期的に確認、補充をしてください。



- ・洗浄液の補充の際は、必ず適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用して作業を行ってください。



- ・一日の作業の前に必ず実施してください。

1

電源を入れる (☞ P.2-3)

- (1) 主電源スイッチを入れる
- (2) 電源スイッチを入れる

2

ヘッドを移動させる

- (1) **REMOTE** キーを押して、ローカル状態にする
- (2) **▲ ▼ ◀ ▶ Z-UP Z-DOWN** いずれかのジョグキーを押して、ジョグモードに入る
 - ・ジョグモードに入ると、自動でヘッドが上昇します。
- (3) ジョグキーでヘッドを移動させる

3

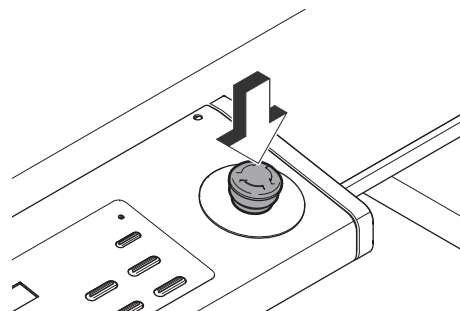
停止スイッチを押す

- ・本機の動作が停止し、スイッチ解除の表示になります。

スイッチヲ カイシ`ヨ シテクタ`サイ

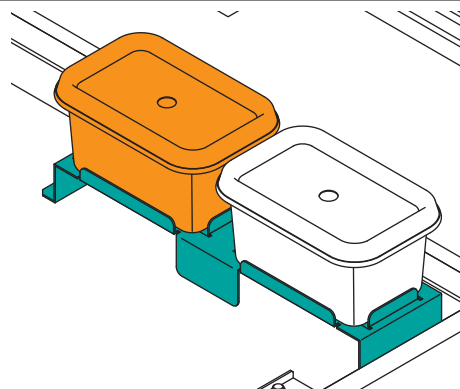


- ・停止スイッチを押すと、ヘッドが下降します。ワーク等に当たらない位置で、停止スイッチを押してください。



4

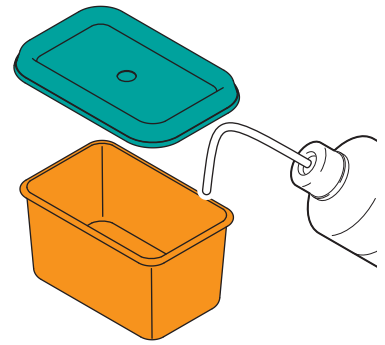
浸け置きバットをバット置き台から取り外す



5

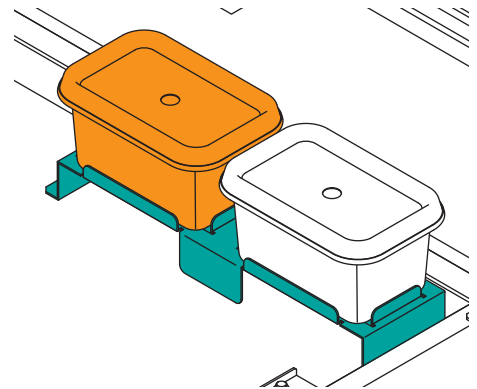
浸け置きバットのフタを取り外し、洗浄液を補充する

- 補充の目安：フチから下に 5mm 程度
- フタを戻します。



6

浸け置きバットをバット置き台へ取り付ける

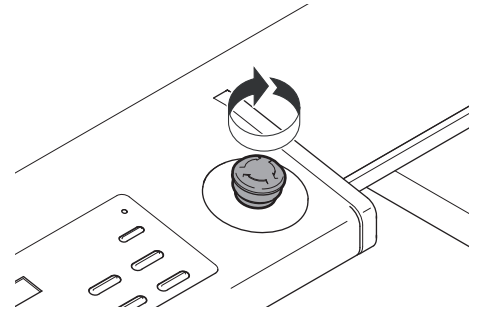


7

停止スイッチを時計方向に回して、ロックを解除する

- 以下の表示になります。

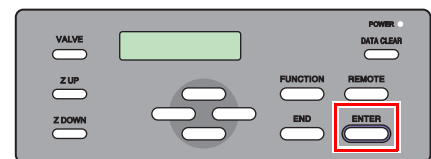
[ENT]ヲ オンテクタ`サイ



8

ヘッドを待機位置に戻す

- (1) **ENTER** キーを押す
 - 自動で待機位置 (浸け置きバット) へ戻ります。



2

基本動作

捨て打ちバットの点検 / 廃棄

捨て打ちバットは、ノズルに付いている洗浄液を捨て打ちした際に出る排液を溜めておきます。一日の作業の前に必ず点検を行い、捨て打ちバットが空であることを確認してください。



- 作業の際は、必ず適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用してください。

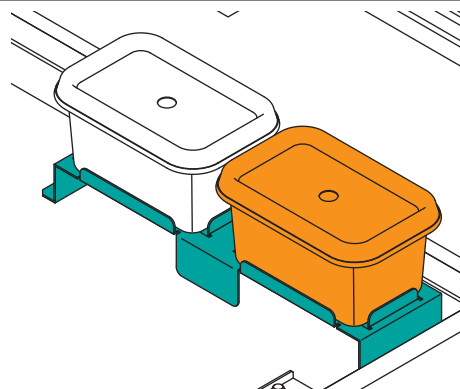
1

捨て打ちバットのフタを取り外し、排液があるか確認する

- 空の場合、フタを元に戻し、塗布作業を開始します。
- 排液があった場合、手順 2 へ進みます。

2

捨て打ちバットをバット置き台から取り外す

**3**

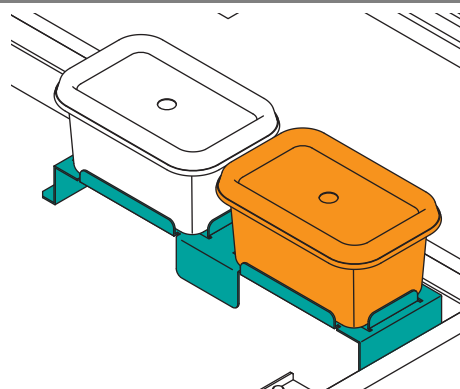
排液を廃棄する



- 廃棄方法は産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。

4

捨て打ちバットをバット置き台へ取り付け、フタを取り付ける

**5**

アプリケーションのクリアボタンで、排液量を 0% にする

塗布剤の充填をする

塗布剤の充填をする



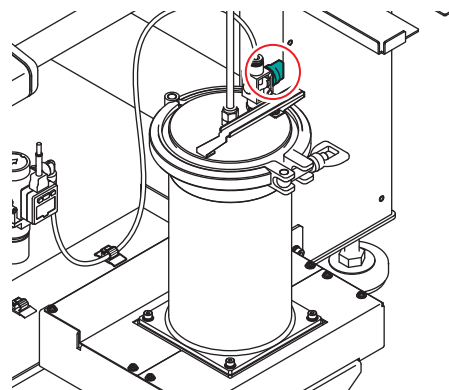
- 塗布剤の充填をする際は、必ずノズルを取り付けてください。ノズルを取り外した状態で塗布剤が吐出すると、霧状に飛散する恐れがあり、大変危険です。
- 塗布剤の充填をする際は、必ず適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用して作業を行ってください。

1

圧送タンクのエアーバルブを閉める



- 安全のため、必ずエアーバルブを閉めてください。



2

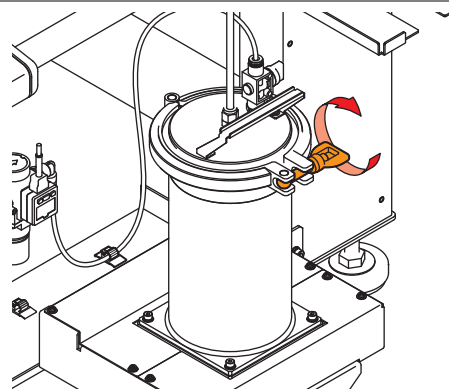
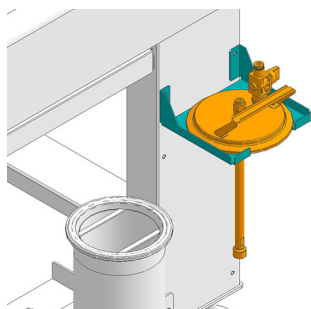
圧送タンクのツマミネジを緩め、タンクキャップを外す



- タンク周辺を紙ワイブ等で養生してください。



- 外したタンクキャップは、蓋受け台に載せておきます。

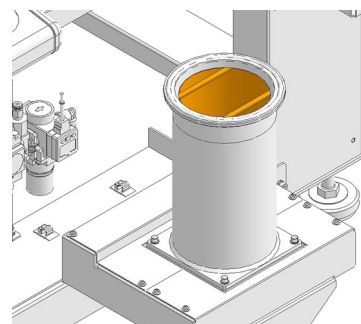


3

SUS 缶を取り出し、塗布剤を充填する

4

SUS 缶を戻す



2

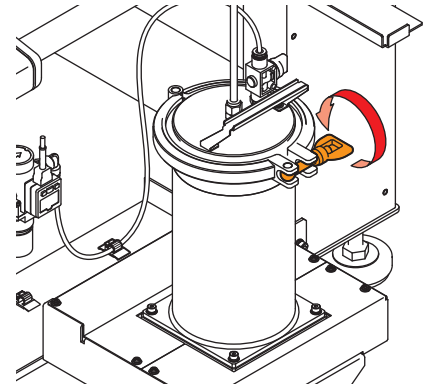
基本動作

5

タンクキャップを元に戻し、ツマミネジで固定する

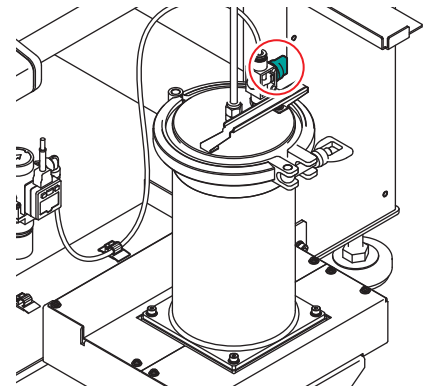


- ・ガスケットが正しく圧送タンクの溝にはまっているか確認してください。



6

圧送タンクのエアーバルブを開ける



7

電源を入れる (☞ P.2-3)

- (1) 主電源スイッチを入れる
- (2) 電源スイッチを入れる

8

ヘッドを捨て打ちバットの上へ移動させる

- (1) **REMOTE** キーを押して、ローカル状態にする
- (2) **VALVE** キーを押して、捨て打ちモードに入る
 - ・自動でヘッドが捨て打ちバットの上へ移動します。

* ステウチ *
バルブ : OFF

9

手動でノズルから塗布剤を吐出する



- ・ノズルが取り付けられていることを確認してください。
ノズルを取り外した状態で塗布剤が吐出すると、霧状に飛散する恐れがあり、大変危険です。

- ・塗布剤が安定して吐出するようになるまで、**VALVE** キーを長押しします。
- ・**VALVE** キーを離すと、吐出が止まります。

* ステウチ *
バルブ : ON

10

捨て打ちモードを終了する

- ・**END** キーを押します。

テスト塗布をする

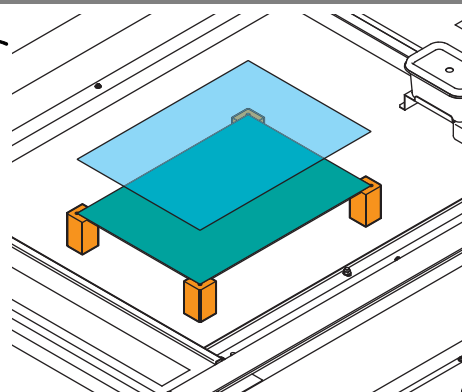


- 一日の作業の前に必ず実施してください。
- 塗布条件やノズルを付け替えた場合は、テスト塗布を行ってください。

テスト塗布では、次の項目を確認します。

確認ポイント	確認項目
塗布結果にズレがある	圧力は適切か確認します。
	ノズルの先端が固着していないか確認します。
塗布結果にかすれがある	塗布条件は適切か確認します。 <ul style="list-style-type: none">• タンク内の塗布剤の量を確認します。• 塗布剤の粘度を調整します。

1 塗布パネル上に角冶具を置き、フィルム置板をセットする



2 フィルム置板にテスト用紙を載せる

3 **REMOTE** を押して、テスト塗布を行う

- リモート状態にします。
- ホストコンピューターから、データを送信します。データを受信すると、自動的に塗布が始まります。

* リモート*

4 塗布結果を確認し、アプリケーションに入力する

- 規定値の場合、テスト塗布を終了します。
- ズレが生じている場合、手順 5 以降を実施します。

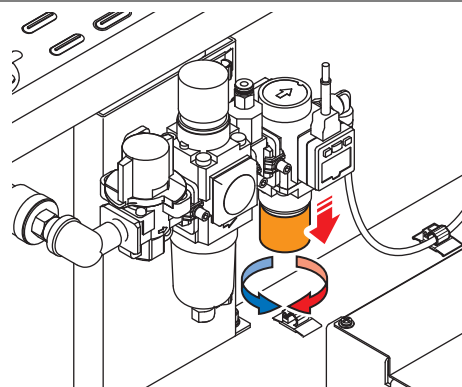
5 圧力を調整する

- レギュレーター下部のダイヤルを下に引き、左右に回して圧力を調整します。
規定値：0.05 ~ 0.4



- 使用する塗布剤や気温により、圧力は異なります。
気温が低いとき：圧力を上げてください(右へ回します)。
気温が高いとき：圧力を下げてください(左へ回します)。

- 調整終了後、レギュレーター下部のダイヤルを元に戻します。



6 再度、**REMOTE** を押して、テスト塗布を行う

- 塗布結果が規定値になるまで、テスト塗布と確認を繰り返します。

2

基本動作

ワークを固定する

本機は、2種類の方法でワークを固定できます。



- セット可能なワークの厚み (最大値) は、次の通りです。

ワークの厚み	40 mm
--------	-------

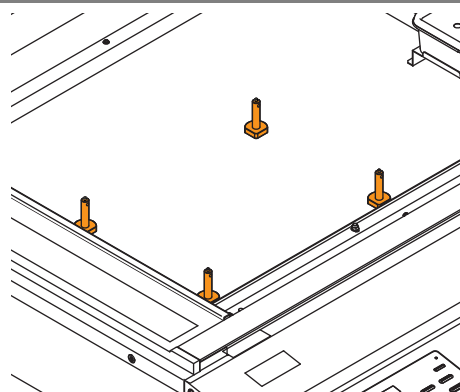
ワークの基準穴で固定する

1 塗布パネル上にワーク固定ベースを置く

- ワーク固定ベースは、マグネットで取り付けることができます。

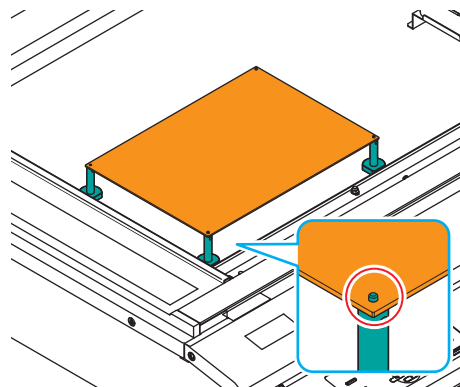


- ワーク固定ベースの平になっている側面が、セットガイドプレートに沿うようにセットします。



2 ワーク固定ベースへ、ワークを載せる

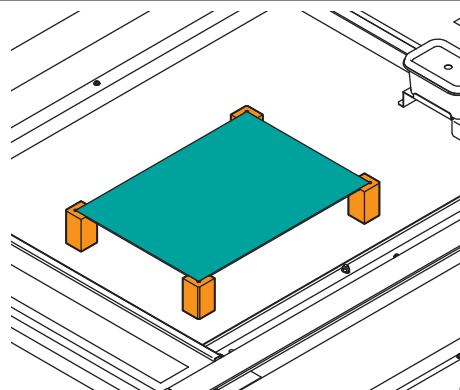
- ワーク固定ベースのピンへ、ワークの穴を合わせます。



ワークの外形で固定する

1 塗布パネル上に角治具を置き、ワークをセットする

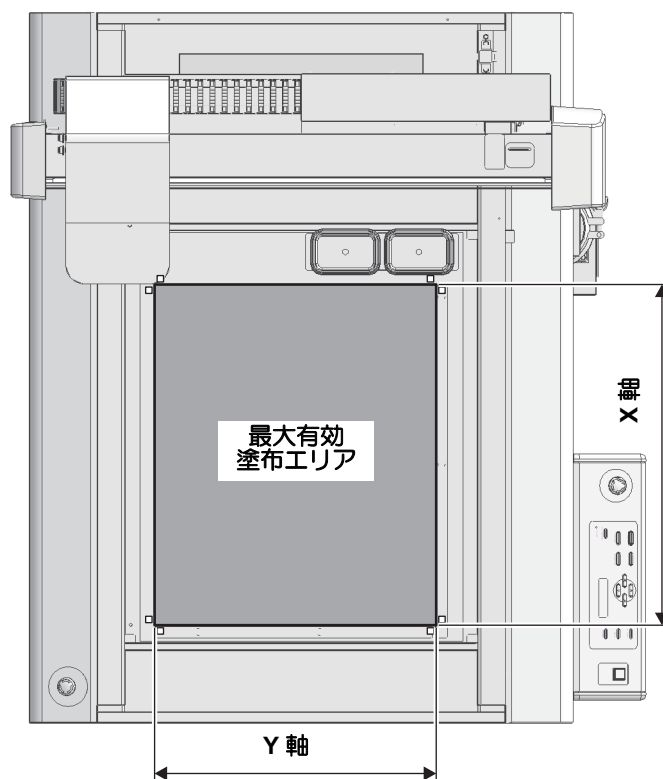
- 角を合わせてセットします。



有効塗布エリアについて

モデル別の最大有効塗布エリアは右のとおりです。

モデル名	X 軸 (mm)	Y 軸 (mm)
DCF-605PU	520	450



塗布する

1

REMOTE を押す

・リモート状態になります。

* リモート *

2

ホストコンピュータからデータを送信する

・データを受信すると、自動的に塗布が始まります。

手動で捨て打ちする

1

ローカル状態にする

・リモート状態のときは、**REMOTE** を押してローカル状態にします。

< ローカル >

2

VALVE を押す

・自動でヘッドが捨て打ちバットの上へ移動します。

* ステウチ *
バルブ : OFF

3**VALVE** を長押しする

- 手動でノズルから、塗布剤が吐出します。
- **VALVE** キーを離すと、吐出が止まります。

* ステウチ *
ハ`ルプ` : ON

4

捨て打ちモードを終了する

- **END** キーを押します。

処理を中断する

リモート状態で塗布中に、何らかの理由で処理を中断したいときに以下の操作をしてください。



- 塗布中に中断すると、塗布幅が変化し、品質に影響が出ます。必要な場合以外は、中断しないでください。

1本機が動作中に **REMOTE** を押す


処理を再開する

1再開するとき、**REMOTE** を押す

- リモート状態になり、処理を再開します。

中断後に設定できる機能

● 受信バッファに残っているデータをクリアする

 「処理を中止する（データクリア）」

処理を中止する（データクリア）

次の場合にはデータクリアをして、受信済みのデータを受信バッファからクリアします。

- (1) 塗布中に一時中断したファイルを、処理の再開をしないで受信バッファからクリアしたいとき
- (2) 受信済みでまだ処理をしていないデータを、受信バッファからクリアしたいとき
- (3) 前回、塗布データを送った PC と異なる PC を使って塗布したい場合

1

ローカル状態にする

- ・リモート状態のときは、**REMOTE** を押してローカル状態にします。
- ・データの処理中に **REMOTE** を押すと、処理が中断します。

<ローカル> データアリ

2

DATA CLEAR を押す

データクリア
[ENT]

3

ENTER を押す

- ・データクリアを実行します。
- ・データクリアを取り消す場合は、**END** キーを押してください。手順 2 に戻ります。

2

基本動作

電源のオフ



- 電源をオフにする前に、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないか確認してください。
- 電源をオフにする前に、ノズルを取り外してください。浸け置きバットを倒す恐れがあります。

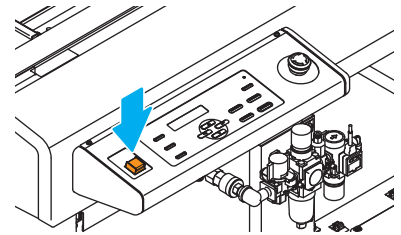
1

接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2

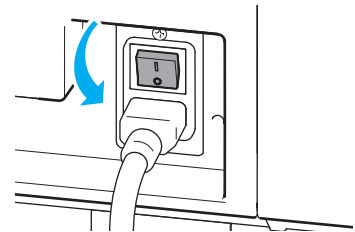
電源スイッチを押して、電源を切る

- 操作パネルにある電源スイッチを押します。
- **END** キーを押します。
- POWER ランプが消灯して電源がオフになります。



3

本機右側面にある電源スイッチを「0」側に倒す



未作図のデータを確認する

データを塗布する場合	(1) REMOTE を押してリモート状態にする (2) 受信済みのデータを塗布します。
データを消去する場合	(1) REMOTE を押してローカル状態にする (2) データクリアをする (P.2-15)

第3章 便利な使い方



この章では ...


本機をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

設定機能一覧表	3-2
ジョグモードによる機能	3-4
表示単位の設定	3-5
LANGUAGE の設定	3-7
その他の便利な機能	3-8
キープザーの設定をする	3-8
ネットワークの設定をする	3-9
設定した内容を初期状態に戻す	3-11
装置情報を確認する	3-12
その他の情報を表示する	3-13

設定機能一覧表

各設定機能の概要と設定値について説明します。

マシン設定メニュー一覧表

機能名	設定値	概要	
時刻設定	+4h ~ -20h (日本時間)	現在の日付と時刻を設定します。	
捨て打ち	ナシ、1s ~ 20s	捨て打ちの有無と、捨て打ち時間を設定します。	
単位 / 温度	°C (摂氏) / °F (華氏)	温度の表示単位を設定します。	
単位 / 長さ	mm / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。	
キーブザー	ON / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。	
ネットワーク ( P.3-9)		ネットワークの設定をします。	
	IP アドレス確認	_____	現在、本機が使用中の IP アドレスが表示されます。
	MAC アドレス確認	_____	現在、本機が使用中の MAC アドレスが表示されます。
	DHCP	ON / OFF	ON の場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。
	AutoIP	ON / OFF	ON の場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。
	IP アドレス *1	_____	本機が使用する IP アドレスを設定します。
	デフォルト ゲートウェイ *1	_____	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。
	DNS アドレス *1	_____	本機が使用する DNS サーバーのアドレスを設定します。
サブネット マスク *1	_____	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。	
LANGUAGE	ニホンゴ / English	表示言語を変更します。	
リセット	_____	すべての設定項目を初期値に戻します。	

*1. [DHCP]、[AutoIP] が両方 OFF の場合のみ設定可能

情報メニュー一覧表

項目	内容
バージョン	本機のバージョン情報が表示されます。
エラー履歴	本機で発生したエラーを表示します。

ジョグモードによる機能

ローカル状態から、ジョグキー(▲▼◀▶) (Z-UP) (Z-DOWN)を押すとジョグモードに入ります。ジョグモードではヘッドをX軸、Y軸、Z軸方向に移動することができます。



- ・ジョグモードを使用するまえに、必ず、塗布するデータが無いことを確認してください。

ヘッドを移動する

1

(REMOTE)キーを押して、ローカル状態にセットする

<ローカル>

- ・あらかじめ、(REMOTE)キーを押してリモート状態にしても、塗布しないことを確認してください。

2

(▲▼◀▶) (Z-UP) (Z-DOWN)を押して、ジョグモードに入る

<イト`ウ>

0.0 0.0

- ・いずれかのジョグキーを押すと、ジョグモードに入ります。

3

(▲▼◀▶)で、X軸方向、Y軸方向に移動する

- ・矢印方向にヘッドを移動します。

4

(Z-UP) (Z-DOWN)で、Z軸方向に移動する

<イト`ウ>

Z タカサ 50.0

- ・(Z-UP)で、ヘッドが上昇します。
- ・(Z-DOWN)で、ヘッドが下降します。

5

(END)キーを押して、ジョグモードを終了する

- ・自動で待機位置(浸け置きバット)へ戻ります。

表示単位の設定

単位 / 長さ

ディスプレイに表示する、長さや面積の単位を設定します。

設定値	概要
mm	ミリメートルで表示
inch	インチで表示

1

ローカル状態で、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
マシンセッテイ [ENT]

2

[マシンセッテイ] を選択し、**ENTER** キーを押す

マシンセッテイ
シ`コクセッテイ [ENT]

3

▲ **▼** で [タンイ / ナガサ] を選択し、**ENTER** キーを押す

マシンセッテイ
タンイ / ナカ`サ [ENT]

4

▲ **▼** で、設定を選択する
・設定値 : mm, inch

ナカ`サ
: mm

5

ENTER キーを押す
・登録しないときは、**END** を押します。

6

終了するときは、**END** キーを 2 回押す

3

便利な使い方

単位 / 温度

ディスプレイに表示する、温度の単位を設定します。

設定値	概 要
°C	°C（摂氏）で表示
°F	°F（華氏）で表示

1

ローカル状態で、**FUNCTION** キーを押す

<FUNCTION>
マシンセッテイ [ENT]

2

[マシンセッテイ] を選択し、**ENTER** キーを押す

マシンセッテイ
シ`コクセッテイ [ENT]

3

▲ **▼** で [タンイ / オンド] を選択し、**ENTER** キーを押す

マシンセッテイ
タンイ / オント` [ENT]

4

▲ **▼** で設定を選ぶ
・設定値：°C（摂氏）、°F（華氏）

オント`
: °C

5

ENTER キーを押す
・登録しないときは、**END** を押します。

6

終了するとき、**END** キーを 2 回押す

LANGUAGE の設定

ディスプレイに表示される言語を、日本語または英語から選びます。

- 1 ローカル状態で、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
マシンセッテイ [ENT]
- 2 [マシンセッテイ] を選択し、**ENTER** キーを押す
マシンセッテイ
シ`コクセッテイ [ENT]
- 3 **▲** **▼** で [LANGUAGE] を選択し、**ENTER** キーを押す
マシンセッテイ
LANGUGE [ENT]
- 4 **▲** **▼** で、言語を選択する
・設定値：ニホンゴ, English
LANGUGE
: ニホンゴ`
- 5 **ENTER** キーを押す
・登録しないときは、**END** を押します。
- 6 終了するときは、**END** キーを 2 回押す

その他の便利な機能

キーブザーの設定をする

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

- 1 ローカル状態で、**FUNCTION** キーを押す
FUNCTION
マシンセッテイ [ENT]
- 2 [マシンセッテイ] を選択し、**ENTER** キーを押す
マシンセッテイ
シ`コクセッテイ [ENT]
- 3 **▲** **▼** で [キーブザー] を選択し、**ENTER** キーを押す
マシンセッテイ
キーブ`サー [ENT]
- 4 **▲** **▼** で、ON / OFF を選択する
• 設定値 : ON, OFF
キーブ`サー
: ON
- 5 **ENTER** キーを押す
- 6 終了するときは、**END** キーを数回押す



• 設定を“OFF”にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

ネットワークの設定をする

1

ローカル状態で、**FUNCTION** キーを押すFUNCTION
マシンセッテイ [ENT]

2

[マシンセッテイ] を選択し、**ENTER** キーを押すマシンセッテイ
シグコクセッテイ [ENT]

3

▲ **▼** で [ネットワーク] を選択し、**ENTER** キーを押すマシンセッテイ
ネットワーク [ENT]

4

ENTER キーを押す

- ・現在、本機が使用中の IP アドレスが表示されます。IP アドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。

ネットワーク
IP アドレス カクニン [ENT]IP アドレス カクニン
0 . 0 . 0 . 0

- ・ネットワークに接続後、IP アドレスが確定するまで時間がかかります。

5

ENTER キーを押す

6

▲ **▼** で [MAC アドレス] を選択するネットワーク
MAC アドレス カクニン [ENT]

7

ENTER キーを押す

- ・現在、本機が使用中の MAC アドレスが表示されます。
- ・**▶** を押すと、次のアドレスが表示されます。

MAC アドレス カクニン
00 : d0 : 1b : 02 : b0 : fe

8

ENTER キーを押す

9

▲ **▼** で [DHCP] を選択するネットワーク
DHCP [ENT]

10

ENTER キーを押す

- ・**▲** **▼** で、ON / OFF を設定します。
- ・[ON]の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスを使用します。

DHCP
: ON

11

ENTER キーを押す

3

便利な使い方

12

▲ ▼ で [Auto IP] を選択する

ネットワーク
Auto IP [ENT]**13**

ENTER キーを押す

Auto IP
: ON

- ▲ ▼ で、ON / OFF を設定します。
- [ON] の場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が [ON] の場合は DHCP を優先します。

14

ENTER キーを押す

- DHCP か AutoIP のどちらかを [ON] に設定した場合は、手順 19 へ進みます。
- DHCP と AutoIP を両方 [OFF] に設定した場合は、手順 15 へ進みます。

15

▲ ▼ を押して次の各項目を選択する

- DHCP、AutoIP を両方 [OFF] にした場合は、IP アドレス / デフォルトゲートウェイ / DNS アドレス / サブネットマスクを設定します。

16

ENTER キーを押す

17

▲ ▼ ◀ ▶ で設定する

18

ENTER キーを押して、設定値を確定する

19

終了するとき、END キーを数回押す



- ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

設定した内容を初期状態に戻す

1

ローカル状態で、**FUNCTION** キーを押すFUNCTION
マシンセッテイ [ENT]

2

[マシンセッテイ] を選択し、**ENTER** キーを押すマシンセッテイ
シ`コクセッテイ [ENT]

3

▲ **▼** で [リセット] を選択し、**ENTER** キーを押すマシンセッテイ
リセット [ENT]

4

ENTER キーを押す

・設定項目とパラメータを初期化します。





セッテイチ スペ`テリセットサレマス
ヨロシイテ`スカ? [ENT]

5

初期化を中止して終了するとき、**END** キーを 3 回押す

装置情報を確認する

本機の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は以下の通りです。

項目	内容	
バージョン	本機のモデル名、ファームウェアバージョン、コマンド名、コマンドバージョンを確認します。	
	モデル名 DCF605 G_code コマンド名	ファームウェアバージョン V1.0.0 V2.00 コマンドバージョン
エラーリレキ	本機で発生したエラー履歴情報を確認します。	<ul style="list-style-type: none"> 発生年月日を表示します。   で、エラー履歴を切替えます。
		<ul style="list-style-type: none">   で、エラー内容を表示します。
		[00000] 2020/09/02 16:13:04 ERROR 91e ティススイッチ

1

ローカル状態で、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
マシンセッテイ [ENT]

2

  で[ジョウホウ]を選択し、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
シ`ョウホウ [ENT]

3

  で、表示したい情報を選択する

シ`ョウホウ
バージョン [ENT]

4

ENTER キーを押す

・情報を表示します。

5

終了するときは、**END** キーを数回押す

その他の情報を表示する

1

ローカル状態で、**ENTER** キーを押す

- **ENTER** キーを押すごとに、情報が順次表示されます。

• シリアル番号

シリアル No.
:*****

• バージョン

DCF605 V1.0.0
G_code V2.00

• LAN 接続状態

LANステータス
1000Mbps

2

終了するときは、**ENTER** キーまたは **END** キーを数回押す。

3

便利な使い方

第4章

日常のお手入れ



この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法など、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ	4-2
外装のお手入れ	4-2
塗布パネル面 / タンク周辺 / 浸け置き・捨て打ちバット	4-3
液供給ホース	4-3
塗布剤の経路の清掃	4-4
塗布ガン部の清掃	4-4
ノズルの洗浄	4-5
サプライ品について	4-6

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。



- お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。



- 本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。
- 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。
- メンテナンス用洗浄液や塗布剤が、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。



- 本機は塗布剤の吐出安定性を確保するために、長時間ご使用されないときには、メンテナンス用洗浄液を使用し、洗浄してください。

メンテナンス用洗浄液について

SDS に従い、塗布剤の充填、廃棄、等の作業をする場合は、下記の安全対策を行ってください。



- 自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。一部成分において、水生生物に対する毒性があります。
- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。
- 適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用してください。

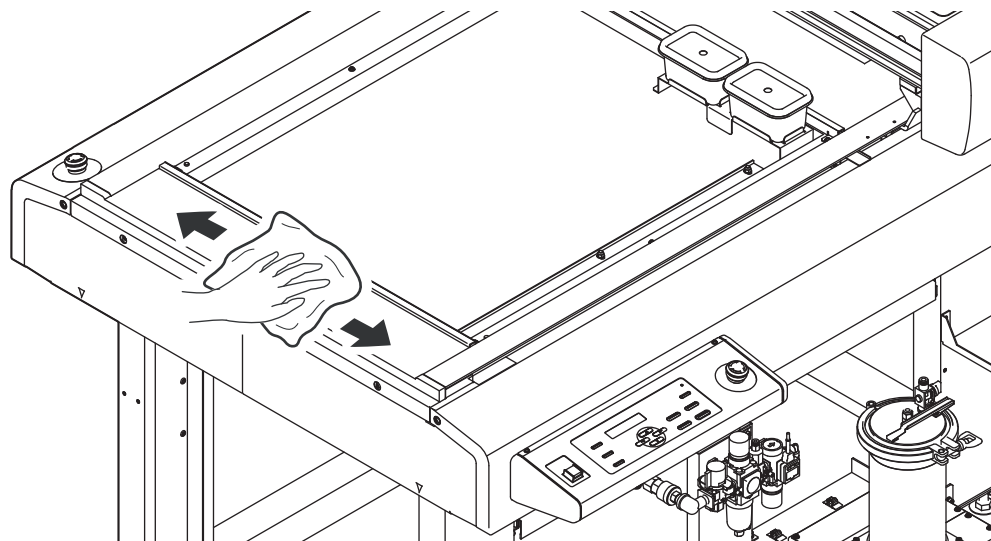


- 取り扱い後はよく手を洗ってください。
- 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- 換気の良い場所でのみ使用してください。
- 涼しい所／換気の良い場所で保管してください。
- 密閉した状態で保管してください。
- 施錠して保管してください。
- 廃棄処分される場合は、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例にしたがって処理してください。
- 子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



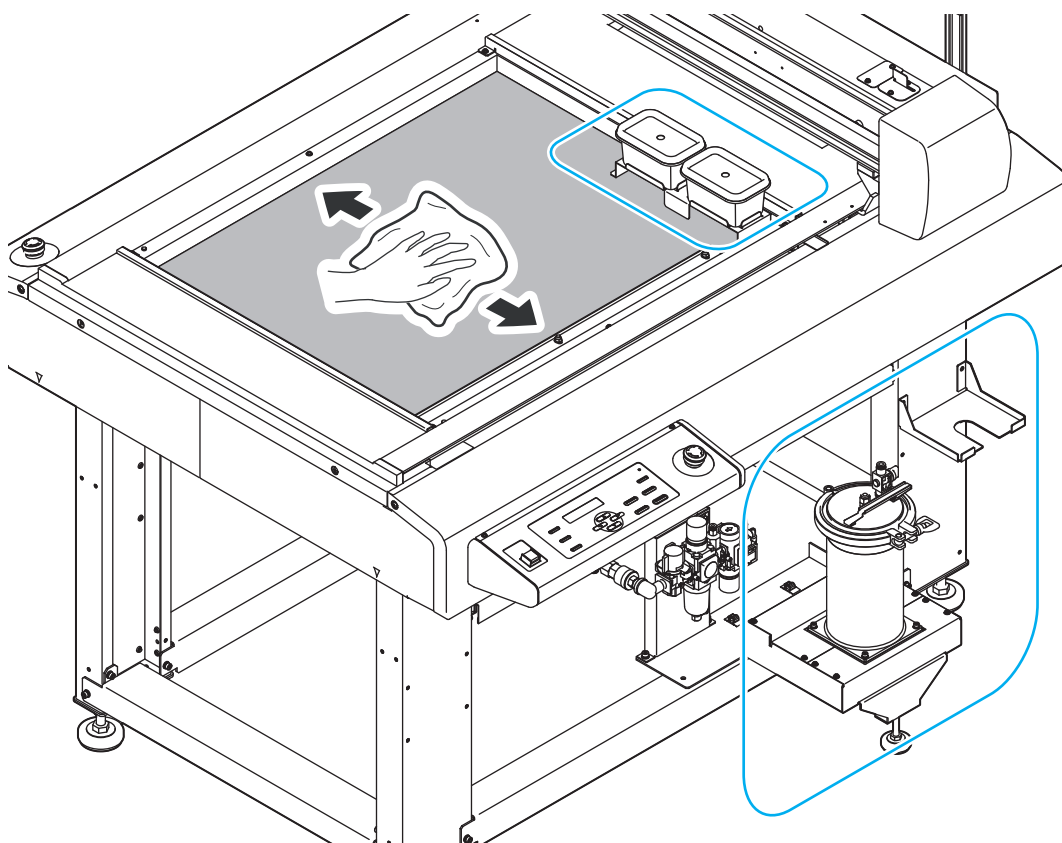
外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



塗布パネル面 / タンク周辺 / 浸け置き・捨て打ちバット

塗布剤がこぼれてしまった場合や、違うところへ塗布してしまった場合は、乾いたきれいな布やペーパータオル等で拭き取ってください。汚れが目立つときは、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



液供給ホース

目視で亀裂がないか、漏れがないかを確認します。
一日の作業の前に必ず確認してください。



- ・ホースに異常があった場合は、電源をオフにし、本機を停止してください。



- ・ホースの交換は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

塗布剤の経路の清掃

電源をオフにする際は、必ず塗布剤の経路の清掃を行ってください。



- ・経路の洗浄をする際は、必ずノズルを取り付けてください。
ノズルを取り外した状態で洗浄液が吐出すると、霧状に飛散する恐れがあり、大変危険です。



- ・タンク周辺を紙ワイブ等で養生してください。

1

圧送タンクに洗浄液を入れる

- (1) 圧送タンクのエアーバルブを閉める
 - ・安全のため、必ずエアーバルブを閉めてください。
- (2) 圧送タンクのツマミネジを緩め、タンクキャップを外す
 - ・外したタンクキャップは、蓋受け台に載せておきます。
- (3) SUS 缶を取り出し、洗浄液を充填する
- (4) SUS 缶を戻す
- (5) タンクキャップを元に戻し、ツマミネジで固定する
 - ・ガスケットが正しく圧送タンクの溝にはまっているか確認してください。
- (6) 圧送タンクのエアーバルブを開ける

2

電源を入れる (☞ P.2-3)

- (1) 主電源スイッチを入れる
- (2) 電源スイッチを入れる

3

経路内に洗浄液を入れる

- ・洗浄液をノズルから吐出し、経路内の洗浄を行います。



- ・ノズルが取り付けられていることを確認してください。
ノズルを取り外した状態で洗浄液が吐出すると、霧状に飛散する恐れがあり、大変危険です。

- (1) **REMOTE** キーを押して、ローカル状態にする
- (2) **VALVE** キーを押して、捨て打ちモードに入る
 - ・自動でヘッドが捨て打ちバットの上へ移動します。
- (3) 洗浄液が安定して吐出するようになるまで、**VALVE** キーを長押しする
 - ・**VALVE** キーを離すと、吐出が止まります。
- (4) **END** キーを押して、捨て打ちモードを終了する

塗布ガン部の清掃

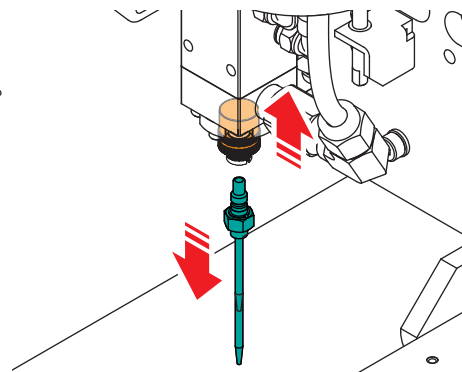
塗布剤の経路の洗浄終了後、塗布ガン部の清掃を行ってください。

1 ノズルを取り外す

- ・アダプター部のスリーブを持ち上げ、ノズルを取り外します。



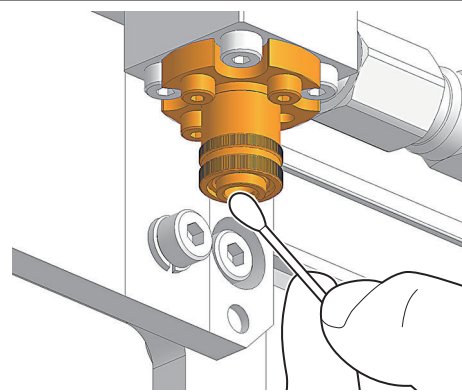
- ・ノズルを取り外した際は、必ず洗浄してください。(☞「ノズルの洗浄」)
- ・ヘッドが自由に動きます。アダプター部を手で固定し、ノズルを取り外してください。



2 アタッチメント部の内側を、洗浄液を含ませた綿棒等で清掃する



- ・メンテナンス洗浄液は残らないように拭き取ってください。



ノズルの洗浄

ノズルを取り外した際は、必ずノズルの洗浄を行ってください。



- ・作業の際は、必ず適切な保護メガネ、手袋、マスクを着用して作業を行ってください。
- ・作業の際は、塗布パネル上に物が置いていないことを確認してください。

1 電源を入れる (☞ P.2-3)

- (1) 主電源スイッチを入れる
- (2) 電源スイッチを入れる

2 ヘッドを移動させる

- (1) **REMOTE** キーを押して、ローカル状態にする
- (2) **▲ ▼ ◀ ▶ Z-UP Z-DOWN** いずれかのジョグキーを押して、ジョグモードに入る
 - ・ジョグモードに入ると、自動でヘッドが上昇します。
- (3) ジョグキーでヘッドを移動させる

3

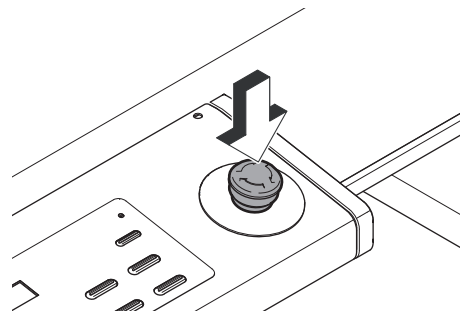
停止スイッチを押す

- 本機の動作が停止し、スイッチ解除の表示になります。

スイッチヲ カイシ`ヨ シテクタ`サイ



- 停止スイッチを押すと、ヘッドが下降します。ワーク等に当たらない位置で、停止スイッチを押してください。



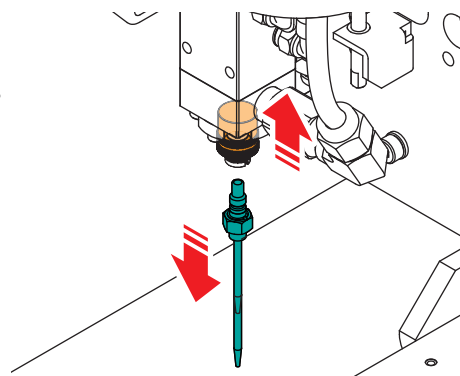
4

ノズルを取り外す

- アダプター部のスリーブを持ち上げ、ノズルを取り外します。

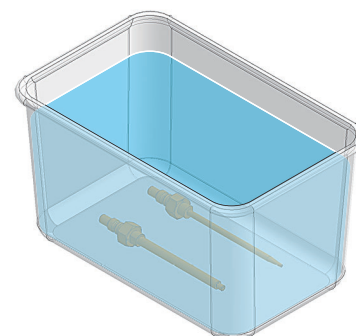


- ヘッドが自由に動きます。アダプター部を手で固定し、ノズルを取り外してください。



5

洗浄液に浸し、塗布剤を落とす



6

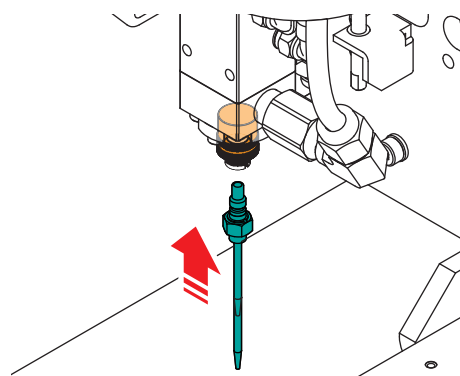
ノズルを取り付ける



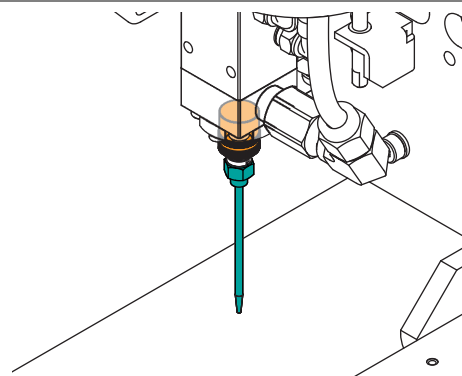
- ヘッドが自由に動きます。アダプター部を手で固定し、ノズルを取り付けてください。



- フィルムコートノズルの場合、ピンがソケットの切り欠き部分に合う様に取り付けます。



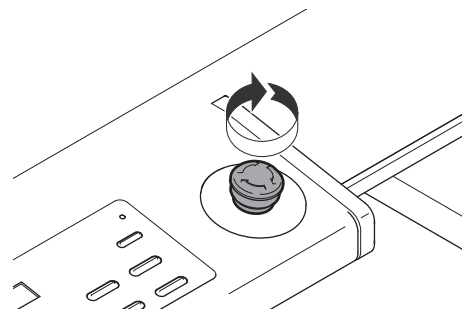
7 スリーブを下げ、ノズルを固定する



8 停止スイッチを時計方向に回して、ロックを解除する

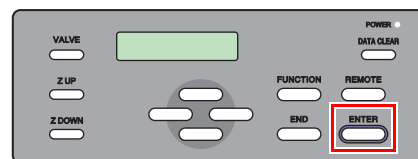
- 以下の表示になります。

[ENT]ヲ オシテクダサイ



9 [ENTER] キーを押す

- 自動で待機位置 (浸け置きバット) へ戻ります。



10 ヘッドを捨て打ちバットの上へ移動させる

- (1) [REMOTE] キーを押して、ローカル状態にする
 - (2) [VALVE] キーを押して、捨て打ちモードに入る
- 自動でヘッドが捨て打ちバットの上へ移動します。

* ステウチ *
ハ`ルブ` : OFF

11 手動でノズルから塗布剤を吐出する

- 塗布剤が安定して吐出するようになるまで、[VALVE] キーを長押しします。
- [VALVE] キーを離すと、吐出が止まります。

* ステウチ *
ハ`ルブ` : ON

12 捨て打ちモードを終了する

- [END] キーを押します。

サプライ品について

お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

サプライの種類	サプライ品			
	品名	品番	個数	備考
ノズル	フィルムコートノズル SUS L41.5 D1.0 (0.1/0.19)	SPC-0867	1本	標準添付品
	ニードルコートノズル SUS L42 D0.6	SPC-0868	1本	標準添付品
その他	ワーク固定ベース	SPC-0869	1個	標準添付品
	ワーク固定ベース用ピン 4.0	SPC-0870	4個	標準添付品
	ワーク固定ベース用ピン 3.5	SPC-0871	4個	標準添付品
	ワーク固定ベース用ピン 3.0	SPC-0872	4個	標準添付品
	ワークLガイド	SPC-0873	1個	角治具 / 標準添付品
	フィルム置板	SPC-0874	1枚	標準添付品
	サックフィルタ SUS 200 メッシュ	SPC-0875	1個	標準添付品

第5章 困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

こんなときには	5-2
故障?と思う前に.....	5-3
電源をオンにしても動作しない	5-3
アプリからデータを送信しても動作しない	5-3
データを送信するとエラーが発生する	5-3
ツールがワークの上を引きずる	5-4
塗布した線が点線になる/かすれる	5-4
メッセージを表示するトラブル	5-5
対処できるエラー	5-5
仕様	5-6
LICENSE Library	5-7

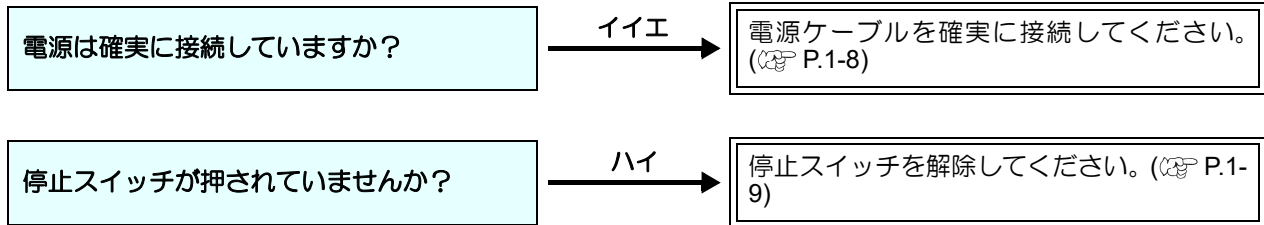
こんなときには

こんなとき	対処方法
塗布できない	<ul style="list-style-type: none">• エアーの確認をします。• 圧力を調整します。 ☞ P.2-11 「テスト塗布をする」• ノズルの洗浄をします。
塗布位置がずれる	<ul style="list-style-type: none">• 圧力を調整します。 ☞ P.2-11 「テスト塗布をする」
塗布幅が違う	<ul style="list-style-type: none">• タンク内の塗布剤の量を確認します。 ☞ P.2-9 「塗布剤の充填をする」

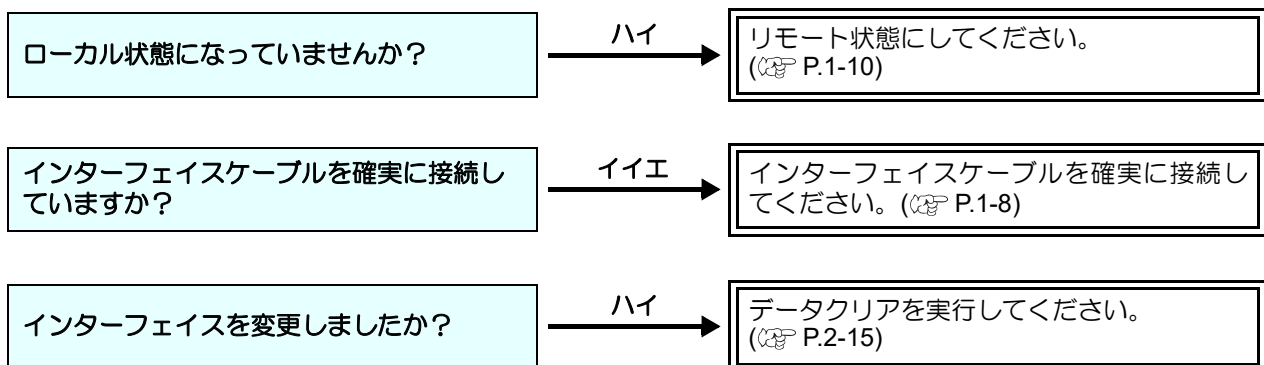
故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

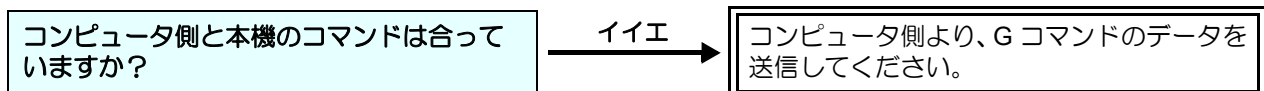
電源をオンにしても動作しない



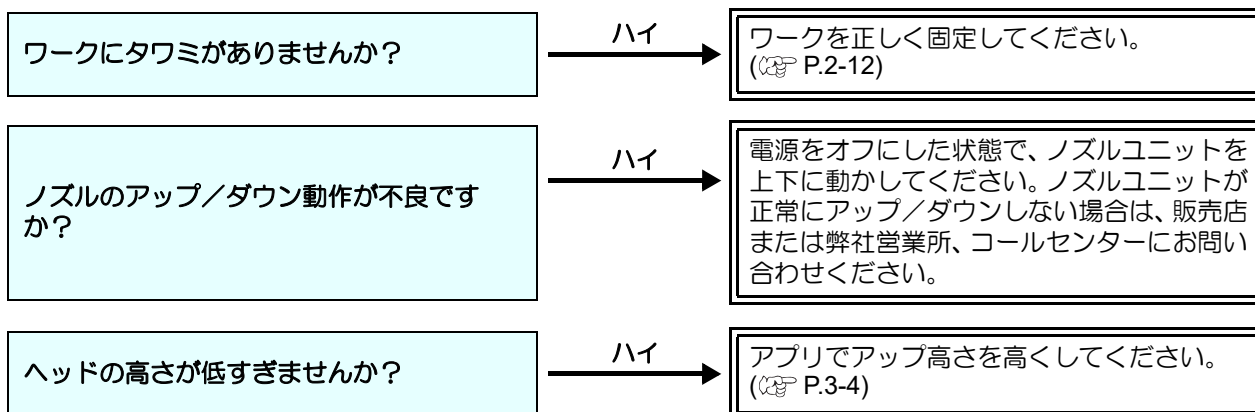
アプリからデータを送信しても動作しない



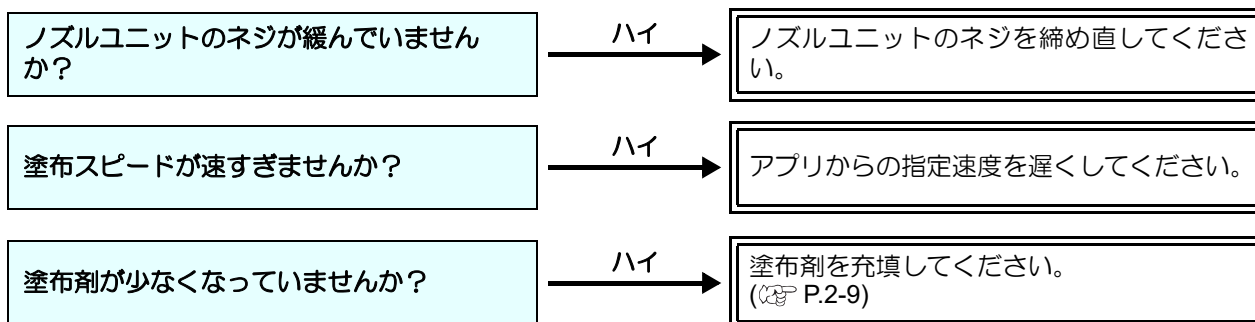
データを送信するとエラーが発生する



ツールがワークの上を引きずる



塗布した線が点線になる/かすれる



メッセージを表示するトラブル

本機に異常が発生すると、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージの内容によって対処してください。

対処できるエラー

表示	原因	対処方法
エラー 201 コマンドエラー	コマンドデータ以外のコードを受信した。	販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
エラー 202 パラメータエラー	数値範囲外のパラメータを受信した。	
エラー 401 モータアラーム X	Yバーを動かすモータに過大な負荷がかかった。	一度電源を切って、入れ直してください。 それでも再び表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
エラー 403 オーバーカレント X	Yバーを動かすモータの過電流エラーを検出した。	
エラー 402 モータアラーム Y	キャリッジを動かすモータに過大な負荷がかかった。	
エラー 404 オーバーカレント Y	キャリッジを動かすモータの過電流エラーを検出した。	
エラー 462 モータアラーム θ	ヘッドを回転させるモータに過大な負荷がかかった。	一度電源を切って、入れ直してください。 それでも再び表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
エラー 464 θ オーバーカレント	ヘッドを回転させるモータの過電流エラーを検出した。	
エラー 461 モータアラーム Z	ヘッドを上下させるモータに過大な負荷がかかった。	
エラー 463 Z オーバーカレント	ヘッドを上下させるモータの過電流エラーを検出した。	
エラー 50a Y ゲンテンケンシュツ	原点センサの検出ができなかった。	一度電源を切って、入れ直してください。 再び表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
エラー 510 X ゲンテンケンシュツ		
エラー 511 Z ゲンテンケンシュツ		
エラー 532 θ ゲンテンケンシュツ		
エラー ca4 G コード オフスケール	データが有効塗布エリアからはみ出ている。	有効塗布エリア内にデータを入れてください。

仕様		モデル名	DCF-605PU
有効作図範囲	X 軸	520 mm	
	Y 軸	450 mm	
	Z 軸	40 mm	
駆動方式		X、Y、Z、θ 軸 : DC サーボ	
最大速度		XY: 300mm / sec	
機械的分解能		X 軸 :4.3μm, Y 軸 :3.7 μm θ 軸 :0.0225°, Z 軸 :7.5 μm	
静的精度	反復精度	± 0.2 mm 以下 (ワーク伸縮は除く)	
	距離精度	± 0.1 mm、または移動距離の ±0.2%のどちらか大きい方	
	原点再現性	± 0.10mm	
	直角精度	0.2 / 400 mm 以下	
セット可能ワーク重量		最大 10 kg (点荷重不可)	
コマンド		G コマンド	
インターフェイス		USB ^{*1} / Ethernet	
動作環境	使用環境	15 - 30 °C 35 - 65 % (Rh) 結露しないこと	
	精度保証範囲	18 - 25 °C 35 - 65 % (Rh) 結露しないこと	
	動作最高高度	2,000 m	
適合規格		VCCI-classA, CE マーキング, IEC62368-1, RoHS, FCC Part 15-ClassA, EAC	
外形寸法	幅	1,170 mm	
	奥行き	1,045 mm	
	高さ	1,480 mm	
	テーブル面高さ	約 780 mm	
重量		130 kg 以下	
タンク容量		750 ml	
本体電源		単相 AC100-120V / 200 - 240 V, 50 / 60 Hz 500 W 以下	

*1. USB は FW のアップデートの際にのみ使用します。

Mimaki printer Firmware

Copyright ©2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contains open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - <http://www.ti.com/>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

L

LAN コネクタ	1-5
LANGUAGE	3-7
LAN 接続状態	3-13

S

SUS 缶	2-9
-------	-----

U

USB インターフェイス	1-5
--------------	-----

Y

Yバー	1-5
-----	-----

あ

アダプター部	1-6
圧送タンク	2-9
アプリケーション	2-11
安全にお使いいただくために	0-vii

え

エアーコンピネーション	1-5
エアーバルブ	2-9
エリア制限	1-2

か

各部の名称とはたらき	1-5
操作パネル	1-7
ヘッド	1-6
本体	1-5

き

キーブザーの設定	3-8
基本操作の流れ	2-2

け

ケーブルの接続	1-8
インターフェイスクーブルの接続	1-8
電源ケーブルの接続について	1-8
警告ラベル	0-x

こ

故障?と思う前に	5-3
ご注意	0-v
こんなときには	5-2

し

主電源スイッチ	1-5
手で捨て打ちする	2-13
仕様	5-6, 5-7
使用者の制限	1-2
使用上の警告と注意	0-viii
使用上の制限について	1-2
使用上の注意	0-viii
初期状態	3-11
ジョグモードによる機能	3-4
処理を再開する	2-14
処理を中止する	2-15
処理を中断する	2-14
シリアル番号	3-13

す

捨て打ちバット	2-8
捨て打ちモード	2-14
スリーブ	1-6

せ

静電気防止テープ	1-5
設置上のご注意	0-ix
設置について	1-3
設定機能一覧表	3-2
情報メニュー	3-3
マシン設定メニュー	3-2
セットガイドプレート	1-5
セット可能なワークの厚み	2-12

そ

操作パネル	1-5
装置情報	3-12

た

待機位置	2-3
タンク Assy.	1-5
タンクキャップ	2-9

つ

ツールの取り付け	2-4
捨て打ちバットの点検 / 廃棄	2-8
浸け置きバットへの洗浄液の補充	2-6
ノズルの取り付け / 交換	2-4
浸け置きバット	2-6

て

データクリア	2-15
テーブル	1-5

停止スイッチ	1-5
停止スイッチについて	1-9
停止からの回復	1-9
停止の方法	1-9
テスト塗布	2-11
テレビ/ラジオの受信障害について	0-v
電源インレット	1-5
電源スイッチ	1-5
電源のオフ	2-16
電源のオン	2-3
電波障害自主規制	0-v

と

塗布ガン部	1-6
塗布結果	2-11
塗布剤について	0-v
塗布剤の充填	2-9
塗布する	2-13
塗布パネル	1-5
取扱説明書について	0-vii

に

ニードルコートノズル	2-4
日常のお手入れ	4-2
液供給ホース	4-4
外装のお手入れ	4-3
経路の清掃	4-4
タンク周辺	4-3
浸け置き・捨て打ちバット	4-3
塗布ガン部の清掃	4-5
塗布パネル面	4-3

ね

ネットワークの設定	3-9
-----------	-----

の

ノズル	1-6
-----	-----

は

はじめに	0-vi
------	------

ひ

表示単位	3-5
------	-----

ふ

フィルム置板	2-11
フィルムコートノズル	2-4
蓋受け台	1-5

へ

ヘッド	1-5
ヘッドを移動する	3-4

ほ

本機の移動	1-4
-------	-----

ま

マーク表示について	0-vii
-----------	-------

み

未作図のデータを確認する	2-16
--------------	------

め

メッセージを表示するトラブル	5-5
メンテナンス用洗浄液	4-2

ゆ

有効塗布エリア	2-13
---------	------

り

リモート状態とディスプレイ表示	1-10
-----------------	------

ろ

ローカル状態とディスプレイ表示	1-10
-----------------	------

わ

ワーク固定ベース	2-12
ワークを固定する	2-12
外形で固定する	2-12
基準穴で固定する	2-12

DCF-605PU 取扱説明書

2020 年 9 月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

